

# 鹿児島県サイクルツーリズムアンケート調査報告書

2025年3月5日作成  
株式会社Bike is Life

## セグメント別アンケートの説明

1

|       | 拠点型                                                                                                                                                                                                                                         | 周遊型                                                                                                                                                                                                                                             | レンタサイクル                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 海外    | <p>【ガイド付きサイクリングを楽しむ海外旅行者】</p> <p>内容: 3時間~4時間ほどのショートサイクリング</p> <p>調査対象: Bike Is Life のプログラム参加者</p> <p>調査方法: アンケート調査、ヒアリング調査、現地調査</p> <p>目標サンプル数: 50 件</p>   | <p>【ガイド付き 1 日~1 ヶ月巡る海外サイクリスト】</p> <p>内容: 80km~120km ほど、日帰りから宿泊をするサイクリング</p> <p>調査対象: 実際に日本を走った、プログラム参加者</p> <p>調査方法: アンケート調査、ヒアリング調査</p> <p>目標サンプル数: 20 件</p>  | <p>【レンタサイクルを利用してサイクリングをする海外旅行者】</p> <p>内容: 自由にサイクリング</p> <p>調査対象: サイクリングを目的に訪れる海外旅行者</p> <p>調査方法: Bike Is Life レンタサイクル利用者へのアンケート、ヒアリング調査</p> <p>目標サンプル数: 50 件</p>  |
| 国内    | <p>【ガイド付きサイクリングを楽しむ国内旅行者】</p> <p>内容: 3時間~4時間ほどのショートサイクリング</p> <p>調査対象: Bike Is Life のプログラム参加者</p> <p>調査方法: アンケート調査、ヒアリング調査、現地調査</p> <p>目標サンプル数: 100 件</p>  | <p>【ガイド付き 1 日~1 ヶ月巡る国内サイクリスト】</p> <p>内容: 80km~120km ほど、日帰りから宿泊をするサイクリング</p> <p>調査対象: 実際に日本を走った、プログラム参加者</p> <p>調査方法: アンケート調査、ヒアリング調査</p> <p>目標サンプル数: 50 件</p>  | <p>【レンタサイクルを利用してサイクリングをする国内旅行者】</p> <p>内容: 自由にサイクリング</p> <p>調査対象: サイクリングを目的に訪れる国内旅行者</p> <p>調査方法: Bike Is Life レンタサイクル利用者へのアンケート、ヒアリング調査</p> <p>目標サンプル数: 50 件</p>  |
| 鹿児島県内 | <p>【鹿児島県内の自転車利用者】</p> <p>内容: 鹿児島県内で自転車に乗っている</p> <p>調査対象: 県内自転車愛好家、県内で移動手段として自転車に乗っている</p> <p>調査方法: アンケート調査、ヒアリング調査、現地調査</p> <p>目標サンプル数: 100 件</p>                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                 | <p>【鹿児島県内のレンタサイクル利用者】</p> <p>内容: 鹿児島県内でレンタサイクルを利用している</p> <p>調査対象: 県内でレンタサイクルを利用している</p> <p>調査方法: アンケート調査、ヒアリング調査、現地調査</p> <p>目標サンプル数: 100 件</p>                                                                                                    |

以下の目的を持って、セグメント別アンケート結果の分析を行います。

### 1. ターゲット層のニーズの把握

・回答者をマーケットごとにセグメントに分けることで、それぞれのグループが持つニーズや課題を探ります。

### 2. データ分析の精度向上

・全体の平均だけでは見えない傾向や特徴を分析します。

### 3. 効果的な意思決定

・セグメント別の結果を基に、特定のターゲット層に合わせた戦略や施策を立てるヒントを探ります。

### 4. リソース配分の最適化

・各セグメントの優先度を把握することで、リソース（時間、予算、人員）を効率よく配分するヒントにします。

### 5. 課題や問題点の特定

・特定のセグメントでネガティブな回答が多い場合、その原因を調査し、解決に向けたヒントを探ります。

### 6. パーソナライズの強化

・セグメントごとの特性に応じて、商品やサービス、コミュニケーションをカスタマイズでき、顧客満足度を向上を図ります。

### 7. 予測やトレンド分析が可能

・過去のアンケート結果をセグメント別に分析することで、将来の傾向やニーズを予測します。

## アンケートの設問

【基本情報】1)お住まいの都道府県 2)年代 3)性別 【サイクリングについて】4)鹿児島県でサイクリングをした事がありますか？ 5)鹿児島県滞在中にいくらお金を使いましたか？（宿泊費は除く） 6)鹿児島には何泊しましたか？ 7)宿泊にはいくら使いましたか？ 8)鹿児島県内をサイクリングした際、自転車はどうしましたか？ 9)鹿児島県で走ってみたいルート、立ち寄ってみたい観光スポットはありますか？ 【レンタサイクルについて】10)鹿児島県内を旅行中に、レンタサイクルを利用した事がありますか？ 11)利用形態（このような利用をしてみたい）について教えてください。 【サイクリングツアーについて】12)ガイド付きサイクリングツアーに参加したことはありますか？ 13)ガイド付きサイクリングツアー（3時間・レンタサイクル付き・食事無し・おやつ有り）に参加するとしたらご予算は幾らですか？（1人当たりの額） 【鹿児島県の取り組み】14)鹿児島県がサイクルツーリズムに力を入れていることを知っていましたか？ 15)鹿児島県内で開催される参加してみたいサイクルイベントはありますか？（複数回答可）

## 1. 調査概要

本調査は、鹿児島県のサイクルツーリズムの現状を把握し、観光振興策の改善に活用することを目的に実施。国内外のサイクリストおよび一般観光客を対象に、アンケートを通じて利用動向や課題を分析した。

## 2. 主な課題と対策案

### (1) 認知度の低さ

サイクリング経験者が少なく、県内外での認知度が低い。

対策：SNSや観光ポータルでの情報発信を強化し、初心者向けイベントを開催。

### (2) 経済波及効果の限定性

サイクリング中の消費額が低く、宿泊・飲食・観光施設との連携が不足。

対策：地元飲食店や観光施設と提携し、消費を促す仕組みを導入。

### (3) 宿泊型観光の未発達

多くの利用者が日帰りで、宿泊を伴う観光が少ない。

対策：「サイクリング＋温泉」「サイクリング＋グルメ」などのサイクリング商品を造成。

### (4) レンタサイクルの利用率

認知度が低く、サービスの利便性が不十分。

対策：電動アシスト自転車の導入、主要駅・観光地での貸出拠点の拡充。

### (5) インバウンド向けサービスの不足

海外からのサイクリストに対する多言語対応や高額消費層向けサービスが不足。

対策：多言語対応の強化、高品質なレンタサイクルや専属ガイド付きツアーの提供。

## 3. 今後の展開

### 初心者・観光客向け：

短距離ルート整備、体験イベント開催

### 地域経済との連携：

飲食・観光施設との連携を強化し、経済効果を拡大

### 宿泊型サイクリングの推進：

温泉・グルメ・文化体験と組み合わせたプラン開発

### インバウンド対応強化：

多言語情報の発信、プレミアムツアーの展開

### 交通・レンタサイクルの利便性向上：

駅・空港でのレンタサイクル整備、観光パス導入

本調査結果をもとに、鹿児島県のサイクルツーリズムの発展を促進し、地域活性化を目指す。

国内拠点型

回答数：131

## 1. 調査概要

国内拠点型サイクリングは、特定の観光地を拠点に、半日～1日で10～20km程度を巡るスタイル。本調査は、鹿児島県におけるサイクルツーリズムの現状を把握し、観光振興策の改善に活用することを目的に実施。対象は国内観光客で、サイクリング経験、消費動向、宿泊状況、レンタサイクルの利用実態などを分析した。

### 調査結果の概要

- ・回答者131名のうち、鹿児島県でのサイクリング経験者は15名のみ。
- ・滞在中消費額が「0円」(12名)や「5,000円以下」(1名)と低く地域経済への貢献が限定的。
- ・宿泊を伴う利用者は1名のみ、大半が日帰り観光。
- ・レンタサイクルの利用は少なく、自転車持ち込みが主流。

## 2. 主な課題と対策案

### (1) 認知度の低さ

課題：サイクリング経験者が少なく、一般観光客への認知度が低い。

対策：SNSや観光ポータルサイトでの情報発信を強化し、初心者向けツアーをPR。

### (2) 経済波及効果の低さ

課題：サイクリング中の消費が少なく、地元経済への影響が限定的。

対策：地元飲食店や観光施設と提携し、立ち寄りスポットを増やす。

### (3) 宿泊型観光の未発達

課題：日帰り利用が中心で、宿泊を伴うサイクリング旅行が普及していない。

対策：「サイクリング＋温泉」「サイクリング＋グルメ」などの宿泊プランを造成し、滞在時間を延長。

### (4) レンタサイクル利用の低迷

課題：主要駅や観光地での貸出拠点が不足し、観光客向けのサービスが整っていない。

対策：E-bikeの導入、貸出・返却拠点の拡大で利便性向上。

## 3. 今後の展開

### (1) 初心者向け環境整備

・短距離ルートの整備や、電動アシスト自転車の導入で初心者に参加しやすい環境を構築。

・体験型イベントを定期開催し、サイクリングの魅力を訴求。

### (2) 地域経済との連携強化

・地元飲食店や特産品販売、観光施設との提携を強化し、観光客の消費を促進。

### (3) 宿泊型サイクリング観光の推進

・観光資源と連携し、宿泊を伴うプランを造成。

### (4) レンタサイクルサービスの充実

・E-bikeを導入し、主要駅や観光地での貸出・返却拠点を増やし、観光客の利便性を向上。

### (5) 認知度向上とプロモーション

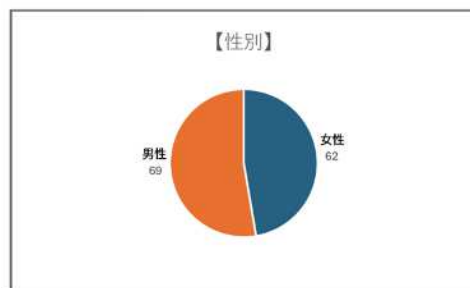
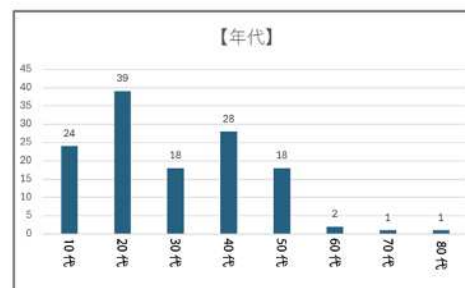
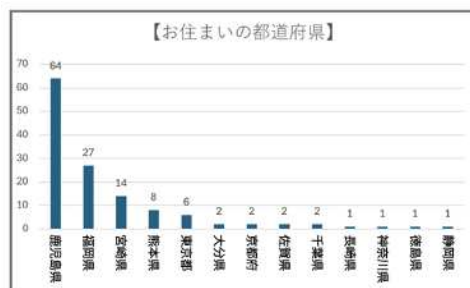
・SNSや旅行メディアでの情報発信を強化し、県外・海外市場への認知を拡大。

・インフルエンサーやYouTuberと連携し、サイクリングの魅力を発信。

国内拠点型サイクルツーリズムの活性化には、初心者向け環境の整備、地域経済との連携、宿泊プランの拡充、レンタサイクルの強化が必要。観光客に鹿児島のサイクリングの魅力を伝え、地域の経済効果を高める施策が求められる。

## 【国内拠点型】 基本情報

| 基本情報        |      |     |
|-------------|------|-----|
| 【お住まいの都道府県】 |      |     |
| 1           | 鹿児島県 | 64  |
| 2           | 福岡県  | 27  |
| 3           | 宮崎県  | 14  |
| 4           | 熊本県  | 8   |
| 5           | 東京都  | 6   |
| 6           | 大分県  | 2   |
| 7           | 京都府  | 2   |
| 8           | 佐賀県  | 2   |
| 9           | 千葉県  | 2   |
| 10          | 長崎県  | 1   |
| 11          | 神奈川県 | 1   |
| 12          | 徳島県  | 1   |
| 13          | 静岡県  | 1   |
|             |      | 131 |
| 【年代】        |      |     |
| 1           | 10代  | 24  |
| 2           | 20代  | 39  |
| 3           | 30代  | 18  |
| 4           | 40代  | 28  |
| 5           | 50代  | 18  |
| 6           | 60代  | 2   |
| 7           | 70代  | 1   |
| 8           | 80代  | 1   |
|             |      | 131 |
| 【性別】        |      |     |
| 1           | 女性   | 62  |
| 2           | 男性   | 69  |
|             |      | 131 |



### 【国内拠点型の説明】

国内拠点型とは、特定の観光地を拠点に、半日から1日をかけて10km～20km程度の範囲をサイクリングで巡る観光スタイルを指します。このセグメントの調査では、以下のような観点を重点的に探ります。

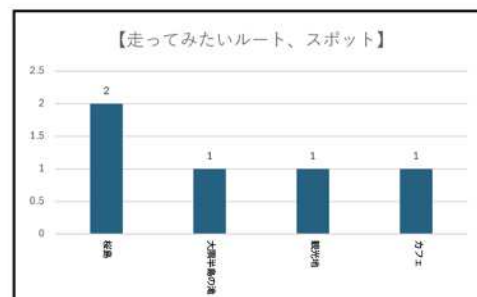
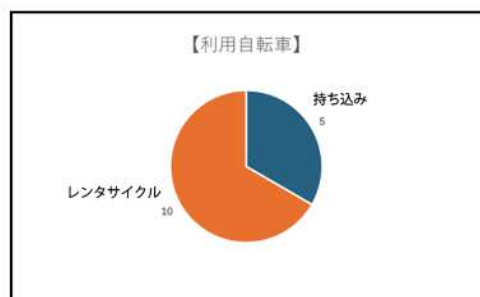
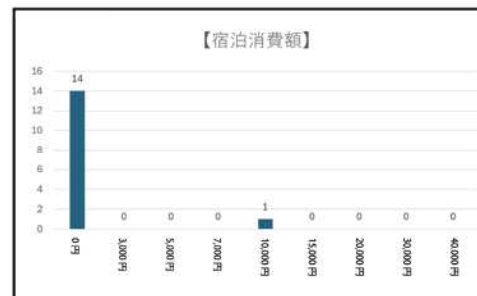
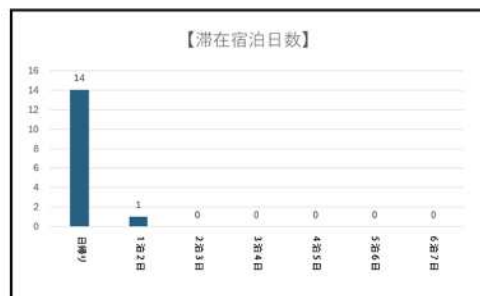
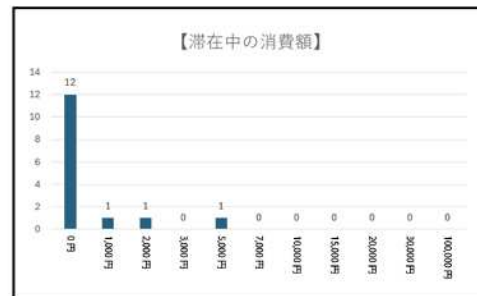
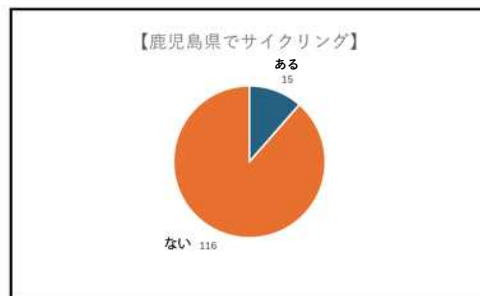
- ・国内観光におけるサイクリングの位置付け
- ・ガイド付きサイクリングツアーのニーズ
- ・サイクリング環境の評価
- ・ターゲット層の特性
- ・イベントなどの地域資源との連携

### 【アンケート収集方法】

1. Bike is Lifeの顧客、九州在住者へのアンケート
2. 九州在住の大学生学生へのアンケート
3. 鹿児島中央駅、鹿児島空港でのアンケート

## 【国内拠点型】鹿児島県サイクルツーリズムについて

| 鹿児島県サイクルツーリズムについて |               |     |
|-------------------|---------------|-----|
| 【鹿児島県でサイクリング】     |               |     |
| 1                 | ある            | 15  |
| 2                 | ない            | 116 |
|                   |               | 131 |
| 【滞在中の消費額】         |               |     |
| 1                 | 0円（日帰り、地元）    | 12  |
| 2                 | 1,000円        | 1   |
| 3                 | 2,000円        | 1   |
| 4                 | 3,000円        | 0   |
| 5                 | 5,000円        | 1   |
| 6                 | 7,000円        | 0   |
| 7                 | 10,000円       | 0   |
| 8                 | 15,000円       | 0   |
| 9                 | 20,000円       | 0   |
| 10                | 30,000円       | 0   |
| 11                | 100,000円      | 0   |
|                   |               | 15  |
| 【滞在宿泊日数】          |               |     |
| 1                 | 日帰り、地元        | 14  |
| 2                 | 1泊2日          | 1   |
| 3                 | 2泊3日          | 0   |
| 4                 | 3泊4日          | 0   |
| 5                 | 4泊5日          | 0   |
| 6                 | 5泊6日          | 0   |
| 7                 | 6泊7日          | 0   |
|                   |               | 15  |
| 【宿泊消費額】           |               |     |
| 1                 | 0円（日帰り、地元、実家） | 14  |
| 2                 | 3,000円        | 0   |
| 3                 | 5,000円        | 0   |
| 4                 | 7,000円        | 0   |
| 5                 | 10,000円       | 1   |
| 6                 | 15,000円       | 0   |
| 7                 | 20,000円       | 0   |
| 8                 | 30,000円       | 0   |
| 9                 | 40,000円       | 0   |
|                   |               | 15  |
| 【利用自転車】           |               |     |
| 1                 | 持ち込み          | 5   |
| 2                 | レンタサイクル       | 10  |
|                   |               | 15  |
| 【走ってみたいルート、スポット】  |               |     |
| 1                 | 桜島            | 2   |
| 2                 | 大隅半島の滝        | 1   |
| 3                 | 観光地           | 1   |
| 4                 | カフェ           | 1   |
|                   |               | 5   |



### 【結果から見えてきた課題】

#### 1. サイクリング経験者の少なさ

鹿児島県内でサイクリングをしたことがある人はわずか15人と非常に少なく、一般観光客にとってサイクルツーリズムが十分に認知されていない状況が明らかになりました。

#### 2. 経済効果

サイクリング中の消費額が「0円」が12人、「5,000円」が1人と低いことから、地元経済への波及効果が限定的です。飲食や土産、観光体験などとの連携が不足していることが伺えます。

#### 3. 宿泊型観光の未発達

サイクリングを目的に宿泊した人は1人で、多くが日帰り利用です。宿泊を伴うサイクリングプランが未整備であるため、滞在型観光の促進が課題となっています。

## 【展望】

### 1.初心者層の取り込み

「サイクリング未経験」の一般観光客や初心者向けに、手軽に始められる短距離のサイクリングルートやツアー、イベントを整備し、サイクリングへの参加障壁を下げること、潜在的な利用層を取り込むチャンスがあります。

### 2.地域経済への波及効果の向上

地元の飲食店や特産品販売所、観光施設と連携し、サイクリング中に立ち寄れるスポットを増やすことで、観光客の消費額を向上させ、地域経済の活性化につながられます。

### 3.宿泊型サイクリング観光の推進

サイクリングと宿泊を組み合わせたプランを提供することで、滞在期間を延ばし、観光資源の活用を拡大できます。例えば、「サイクリング＋歴史観光」や「サイクリング＋グルメ」などのテーマプランが有効です。

### 4.レンタサイクルサービスの強化

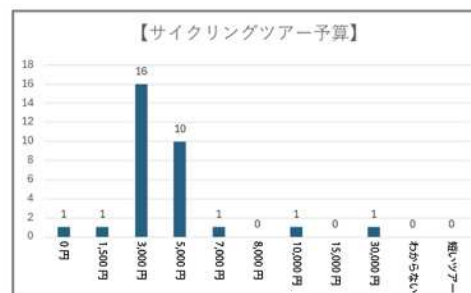
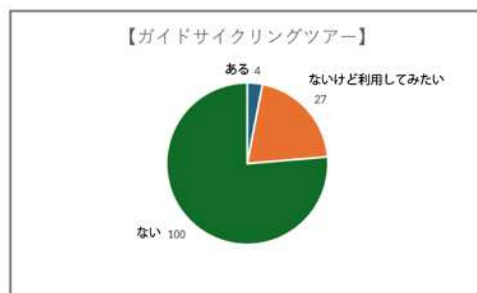
観光地や主要駅でのシェアサイクル、宿泊施設でのレンタサイクルの拠点を拡充し、初心者でも安心して利用できるE-bikeなどの自転車を提供することで、2次交通としての利便性を向上させられます。

### 5.新しいスポットの発掘とプロモーション

桜島や大隈半島以外の地域に目を向け、魅力的なルートを新たに発掘・整備し、情報発信を強化することで、鹿児島全体のサイクルツーリズムを底上げできます。また、カフェや観光地の魅力を整理し、市内の短距離サイクリングプランを用意する事も重要です。

## 【国内拠点型】鹿児島県のガイド付きサイクリングツアーについて

| 鹿児島県サイクリングツアーについて |              |     |
|-------------------|--------------|-----|
| 【ガイドサイクリングツアー】    |              |     |
| 1                 | ある           | 4   |
| 2                 | ないが、参加してみたい  | 27  |
| 3                 | ないし興味もない     | 100 |
|                   |              | 131 |
| 【サイクリングツアー予算】     |              |     |
| 1                 | 0円           | 1   |
| 2                 | 1,500円       | 1   |
| 3                 | 3,000円       | 16  |
| 4                 | 5,000円       | 10  |
| 5                 | 7,000円       | 1   |
| 6                 | 8,000円       | 0   |
| 7                 | 10,000円      | 1   |
| 8                 | 15,000円      | 0   |
| 9                 | 30,000円      | 1   |
| 10                | わからない        | 0   |
| 11                | もう少し短いツアーを希望 | 0   |
|                   |              | 31  |



### 【結果から見えてきた課題】

#### 1. 参加経験者の少なさと認知

ガイド付きサイクリングツアーに参加したことがある人はわずか4人（全体の約3%）で、認知や魅力の訴求が十分に行き届いていない可能性が高いです。また、「ないけど参加してみたい」層が27人存在するものの、具体的な行動に結びついていない状況が課題です。

#### 2. 低価格志向とインバウンド市場との価格ギャップ

国内市場では「3,000円～5,000円」の価格帯を希望する層が圧倒的に多く（26人／約81%）、10,000円以上を支払う意思を持つ層はわずか2人ととどまります。一方で、インバウンド向けツアーの相場が10,000円を超えることを考えると、国内市場ではこの価格帯での高価格ツアー展開が困難であることが明らかです。

#### 3. ツアー内容の魅力訴求

「ないけど参加してみたい」と答えた27人を具体的な参加につなげるには、ツアー内容の魅力をより明確に伝える必要があります。現在のプランが、地元の観光資源や特別な体験の付加価値を十分に伝えられていない可能性があります。

#### 4. 多様なニーズへの対応

「3,000円以下」を希望する層と「10,000円以上」を受け入れる層の両方が存在する中で、ニーズに応じた多様な価格帯やプランをカバーする仕組みが不足しています。ニーズに合わせたプラン設計が課題です。

#### 5. 国内市場へのターゲティングの明確化

国内市場での主なターゲット層が明確でないため、初心者や観光客向け、あるいはサイクリング愛好者向けのどちらに力を入れるべきかが不透明になっています。

## 【展望】

### 1.低価格帯のプランの充実

国内市場でニーズの高い「3,000円～5,000円」の価格帯を中心に、初心者や観光客向けの短時間ツアーを充実させることで、新規参加者を増やす可能性があります。例えば、3時間～半日程度で観光地を巡るライトなプランが効果的です。イベント的なグループライドの企画などでスタートさせることで、負担を減らした形での導入が可能となり、ニーズが高まったタイミングで本格的なツアー販売へ移行すれば、事業者の負担を抑えつつ参入しやすくなります。

### 2.プレミアムツアーの提供

高価格帯（10,000円以上）のツアーに対して支払う意欲のある層に向けて、地元ならではの体験や高品質なガイドサービスを組み込んだプレミアムツアーを展開します。例えば、地元の特産品を味わえる食事付きツアーや、絶景スポットを巡る特別コース、鹿児島ならではの体験ができるコースが挙げられます。現在の国内市場ではプレミアムツアーのニーズは不透明ですが、インバウンド向けのツアーとして造成し、国内需要を育てるという流れで展開すれば、リスクを抑えた運営が可能と考えられます。

### 3.ツアー内容の多様化と訴求

高価格帯（10,000円以上）のツアーに対して支払う意欲のある層に向けて、地元ならではの体験や高品質なガイドサービスを組み込んだプレミアムツアーを展開します。例えば、地元の特産品を味わえる食事付きツアーや、絶景スポットを巡る特別コース、鹿児島ならではの体験ができるコースが挙げられます。現在の国内市場ではプレミアムツアーのニーズは不透明ですが、インバウンド向けのツアーとして造成し、国内需要を育てるという流れで展開すれば、リスクを抑えた運営が可能と考えられます。

### 4.国内外マーケットの差別化戦略

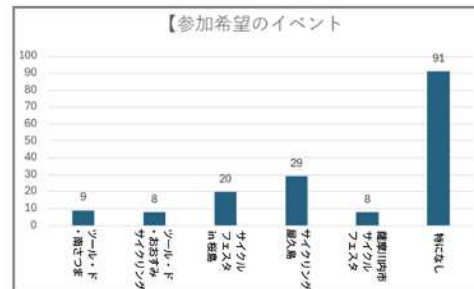
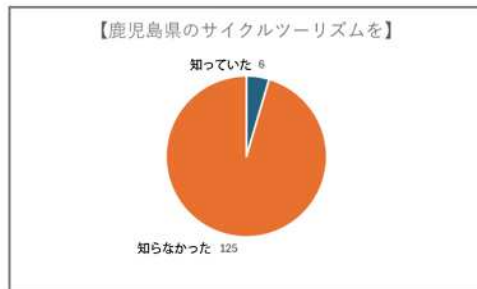
高価格帯（10,000円以上）のツアーに対して支払う意欲のある層に向けて、地元ならではの体験や高品質なガイドサービスを組み込んだプレミアムツアーを展開します。例えば、地元の特産品を味わえる食事付きツアーや、絶景スポットを巡る特別コース、鹿児島ならではの体験ができるコースが挙げられます。現在の国内市場ではプレミアムツアーのニーズは不透明ですが、インバウンド向けのツアーとして造成し、国内需要を育てるという流れで展開すれば、リスクを抑えた運営が可能と考えられます。

### 5.地元資源との連携強化

鹿児島ならではの観光資源（桜島、大隅半島、温泉地など）を活用したルート設計や、地元の食・文化体験を組み込むことで、国内外の観光客にとって特別感のあるツアーの提供が可能です。

## 【国内拠点型】鹿児島県の取り組みについて

| 鹿児島県の取り組み        |                     |     |
|------------------|---------------------|-----|
| 【鹿児島県のサイクルツーリズム】 |                     |     |
| 1                | 知っていた               | 6   |
| 2                | 知らなかった              | 125 |
|                  |                     |     |
| 【参加希望イベント】       |                     |     |
| 1                | ツール・ド・南さつま          | 9   |
| 2                | ツール・ド・おおすみサイクリング    | 8   |
| 3                | サイクルフェスタin桜島        | 20  |
| 4                | サイクリング屋久島&屋久島ヒルクライム | 29  |
| 5                | 薩摩川内市サイクルフェスタ       | 8   |
| 6                | 特になし                | 91  |



### 【結果から見えてきた課題】

#### 1. サイクルツーリズムの認知度

鹿児島県のサイクルツーリズムの取り組みを「知っていた」と答えた人はわずか6人（全体の約5%）で、大多数（約95%）が「知らなかった」と回答しています。地元住民や旅行者に対して、取り組みやその魅力を伝える情報発信が求められます。

#### 2. イベントへの関心の偏り

「サイクリング屋久島」「サイクルフェスタin桜島」に関心が集中している一方、地域密着型イベントへの関心は低調です。一方、「特になし」と答えた層が91人と大多数を占めており、イベント自体の情報がターゲット層に届いていない可能性があります。

#### 3. 非関心層の多さ

「特になし」と回答した91人（全体の約70%）の層がイベントに対して全く興味を持っていない現状は、サイクリングそのものへの関心を引き出すためのアプローチが不足していることを示しています。

**【展望】****1.認知度向上のための情報発信の強化**

地元住民や観光客に向けて、鹿児島県のサイクルツーリズムの取り組みをわかりやすく、魅力的に伝える情報発信を強化する必要があります。特に、SNSや観光ポータルサイトなど、若年層や観光客が利用するプラットフォームでの発信が有効です。

**2.イベント内容の多様化**

既存のイベントに自然や観光資源を活用した要素をさらに取り入れるとともに、新しいテーマやターゲット層を意識したイベントの企画が求められます。例えば、「初心者向け体験イベント」や「家族で楽しむサイクリングピクニック」などが考えられます。

**3.地元密着型イベントの魅力向上**

「ツール・ド・南さつま」や「ツール・ド・おおすみ」などの地域密着型イベントに、地元文化や食、体験型の観光要素を加えることで、参加者に地域ならではの魅力を伝えることが可能です。

**4.初心者層や非関心層へのアプローチ**

そもそも自転車に興味がない、または持っていない人に対しては、サイクリングの魅力を間接的に伝えるアプローチが必要です。

- ・初心者向け設備の充実: 電動アシスト自転車や、初心者向けの簡単なサイクリングルートを整備し、誰でも気軽に始められる環境を整える。
- ・エンターテイメント要素の追加: スタンプラリーやご当地キャラクターとのコラボレーションを活用し、楽しみながらサイクリングに触れられる仕掛けを作る。

**【国内拠点型の取り込み案】****・社会科見学や修学旅行向けのサイクリングルートの造成**

鹿児島県ならではの歴史や自然を生かしたコースを設定し、学習要素を取り入れることで、学生層の需要を開拓する。例えば、西郷隆盛ゆかりの地や桜島の火山学習を組み込んだルートなど、教育的価値の高い、短距離のプランを設計し、販売します。

**・鹿児島中央駅および鹿児島駅におけるレンタサイクルの整備を推進**

主要な交通拠点にレンタル拠点を設置し、旅行者がスムーズに利用できるシステムを導入することで、観光客の利便性向上を図る。具体的には、事前予約・キャッシュレス決済対応のシェアサイクルサービスを導入し、短時間利用や1日利用など、多様なニーズに対応できる仕組みを整備することが求められます。

**・旅行者向けのサイクリングマップの作成を実施**

観光名所や休憩スポット、飲食店などを分かりやすく掲載し、初心者や観光客でも安心して利用できるよう工夫します。

## 国内周遊型

回答数：201

## 1. 調査概要

国内周遊型サイクリングは、自転車愛好家（サイクリスト）が1日に80～100km程度を走行し、広範囲を巡る観光スタイル。本調査は、鹿児島県内での周遊型サイクリングの実態を把握し、観光振興策の改善に活用することを目的に実施。対象は国内のサイクリストで、利用状況、消費動向、宿泊状況、レンタサイクルの利用実態などを分析した。

### 調査結果の概要

- ・回答者201名のうち、鹿児島県でのサイクリング経験者は多数だが、消費額が低い傾向。
- ・宿泊を伴う利用者は少なく、日帰り利用が101名と過半数。
- ・宿泊費が「0円」の回答者が66%を占め、宿泊観光の促進が課題。
- ・レンタサイクルの利用は16名のみで、大半が自転車を持ち込んでいる。

## 2. 主な課題と対策案

### (1) サイクリング中の消費額の低さ

課題：サイクリング中の飲食や観光体験の消費が少なく、地元経済への波及効果が限定的。

対策：地元の飲食店や観光施設と連携し、サイクリング中に立ち寄れるスポットを増やす。

### (2) 宿泊型観光の未発達

課題：日帰り利用が主流で、宿泊を伴うサイクリング旅行が少ない。

対策：「サイクリング+温泉」などの宿泊プランを造成。

### (3) レンタサイクル利用の低迷

課題：自転車を持ち込むサイクリストが多く、レンタサイクルの利用が進んでいない。

対策：スポーツバイクやE-bikeのレンタルを拡充し、観光目的の利用を促進。

### (4) 高消費層への対応不足

課題：全体の33%が1万円以上消費する意向があるが、高付加価値サービスが不足。

対策：プロのガイド付きプレミアムツアーなどを提供。

## 3. 今後の展開

### (1) サイクリング中の経済波及効果の向上

- ・立ち寄りスポットを増やし、地元グルメ・観光体験を組み込んだルートを開発。
- ・サイクリスト向けの限定特典（割引、地元特産品プレゼントなど）を設定。

### (2) 宿泊型サイクリング観光の推進

- ・「サイクリング+温泉」「サイクリング+地元グルメ」「サイクリング+歴史観光」などのテーマ別宿泊プランを造成。
- ・自転車持ち込み歓迎の宿泊施設（サイクリストに優しい宿）を増やし、専用設備（バイクラック、メンテナンスエリア）を整備。

### (3) レンタサイクルの利便性向上

- ・スポーツタイプのレンタサイクルやスポーツタイプのE-bikeの導入を拡大し、観光サイクリストでも利用しやすい環境を整備、主要観光地・駅・空港での貸出・返却を可能にし、利便性を向上。

### (4) 高価格帯ツアーの展開

- ・高価格帯（1万円以上）のサイクリングツアーを造成し、特別体験（高級食事付きツアー、絶景スポット巡りなど）を提供。
- ・海外市場も視野に入れ、インバウンド向けのプレミアムツアーを展開。

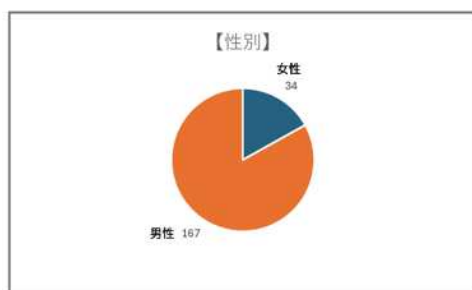
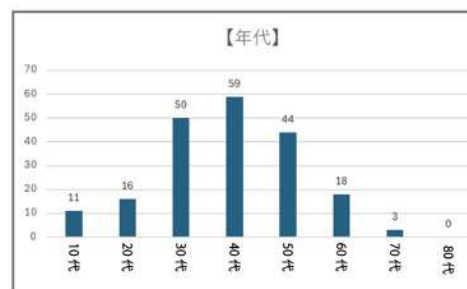
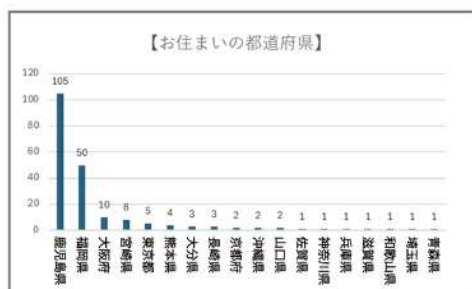
### (5) 認知度向上とプロモーション強化

- ・SNS・観光ポータルサイトでの情報発信を強化し、鹿児島県のサイクルツーリズムを広くPR。

国内周遊型サイクルツーリズムの発展には、サイクリング中の経済効果向上、宿泊型プランの推進、レンタサイクルの利便性向上、高価格帯ツアーの展開が必要。鹿児島の魅力を活かした観光資源との連携を深め、より多くのサイクリストを惹きつける施策が求められる。

## 【国内周遊型】基本情報

| 基本情報        |      |     |
|-------------|------|-----|
| 【お住まいの都道府県】 |      |     |
| 1           | 鹿児島県 | 105 |
| 2           | 福岡県  | 50  |
| 3           | 大阪府  | 10  |
| 4           | 宮崎県  | 8   |
| 5           | 東京都  | 5   |
| 6           | 熊本県  | 4   |
| 7           | 大分県  | 3   |
| 8           | 長崎県  | 3   |
| 9           | 京都府  | 2   |
| 10          | 沖縄県  | 2   |
| 11          | 山口県  | 2   |
| 12          | 佐賀県  | 1   |
| 13          | 神奈川県 | 1   |
| 14          | 兵庫県  | 1   |
| 15          | 滋賀県  | 1   |
| 16          | 和歌山県 | 1   |
| 17          | 埼玉県  | 1   |
| 18          | 青森県  | 1   |
|             |      | 201 |
| 【年代】        |      |     |
| 1           | 10代  | 11  |
| 2           | 20代  | 16  |
| 3           | 30代  | 50  |
| 4           | 40代  | 59  |
| 5           | 50代  | 44  |
| 6           | 60代  | 18  |
| 7           | 70代  | 3   |
| 8           | 80代  | 0   |
|             |      | 201 |
| 【性別】        |      |     |
| 1           | 女性   | 34  |
| 2           | 男性   | 167 |
|             |      | 201 |



### 【国内周遊型の説明】

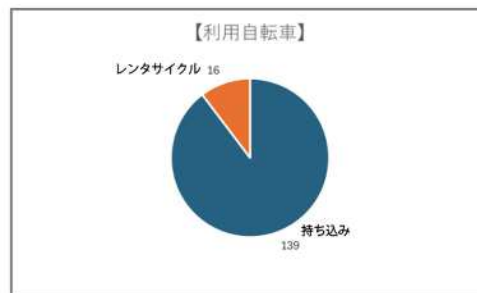
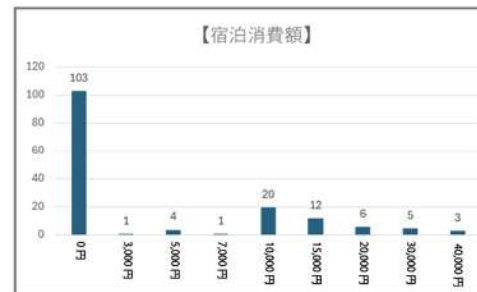
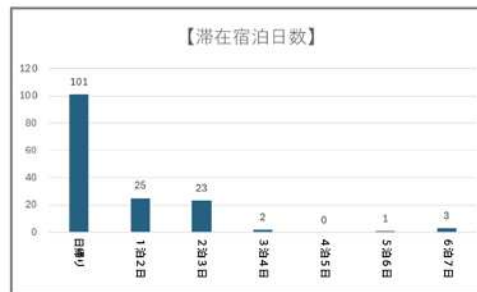
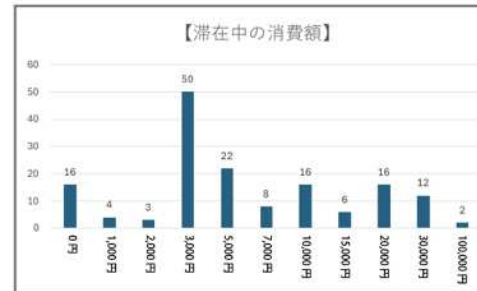
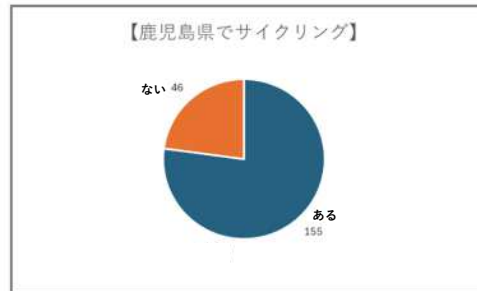
国内周遊型とは、自転車愛好家（サイクリスト）が1日に80km～100km程度を走行し、広範囲にわたって地域を巡る観光スタイルを指します。中には宿泊を伴う長距離のサイクリングを楽しむ層も含まれます。本調査では、以下の観点を重点的に分析しました。

- ・サイクリストの鹿児島県の位置付け
- ・ガイド付きサイクリングツアーのニーズ
- ・サイクリング環境の評価
- ・周遊ルートの魅力と課題
- ・ターゲット層の特性
- ・地域資源との連携

### 【アンケート収集方法】

- 1.サイクリングイベント（ツール・ド・おおすみ、薩摩川内市サイクルフェスタ）参加者へのアンケート
- 2.九州内のサイクリング愛好者へのアンケート
- 3.レース志向のサイクリストへのヒアリング

| 鹿児島県サイクルツーリズムについて |               |     |
|-------------------|---------------|-----|
| 【鹿児島県でサイクリング】     |               |     |
| 1                 | ある            | 155 |
| 2                 | ない            | 46  |
|                   |               | 201 |
| 【滞在中の消費額】         |               |     |
| 1                 | 0円（日帰り、地元）    | 16  |
| 2                 | 1,000円        | 4   |
| 3                 | 2,000円        | 3   |
| 4                 | 3,000円        | 50  |
| 5                 | 5,000円        | 22  |
| 6                 | 7,000円        | 8   |
| 7                 | 10,000円       | 16  |
| 8                 | 15,000円       | 6   |
| 9                 | 20,000円       | 16  |
| 10                | 30,000円       | 12  |
| 11                | 100,000円      | 2   |
|                   |               | 155 |
| 【滞在宿泊日数】          |               |     |
| 1                 | 日帰り、地元        | 101 |
| 2                 | 1泊2日          | 25  |
| 3                 | 2泊3日          | 23  |
| 4                 | 3泊4日          | 2   |
| 5                 | 4泊5日          | 0   |
| 6                 | 5泊6日          | 1   |
| 7                 | 6泊7日          | 3   |
|                   |               | 155 |
| 【宿泊消費額】           |               |     |
| 1                 | 0円（日帰り、地元、実家） | 103 |
| 2                 | 3,000円        | 1   |
| 3                 | 5,000円        | 4   |
| 4                 | 7,000円        | 1   |
| 5                 | 10,000円       | 20  |
| 6                 | 15,000円       | 12  |
| 7                 | 20,000円       | 6   |
| 8                 | 30,000円       | 5   |
| 9                 | 40,000円       | 3   |
|                   |               | 155 |
| 【利用自転車】           |               |     |
| 1                 | 持ち込み          | 139 |
| 2                 | レンタサイクル       | 16  |
|                   |               | 155 |



#### ※調査対象者について

鹿児島県内のサイクリングイベント内でアンケート調査を行った為、サイクリストの数が多くなっています。

#### 【結果から見えてきた課題】

##### 1.サイクリング中の消費額が低い層の存在

鹿児島県内でサイクリングをしたことがあるサイクリストのうち、消費額が「0円（日帰り、地元）」の層が16人、また「3,000円以下」が全体の約47%（73人）を占めています。地元の経済への波及効果が限定的であり、特に地元サイクリストがサイクリング中にお金を使う場面が少ないことが課題です。

##### 2.日帰り利用が中心で宿泊型観光が未発達

155人中101人が日帰りでの利用であり、宿泊を伴うサイクリング旅行は限定的です。宿泊を伴う滞在型観光を促進するための仕組みやサービスが不足しています。

##### 3.宿泊費の支出が無料層に偏る

宿泊費が「0円」の回答が103人と全体の約66%を占めています。宿泊施設の利用促進が課題であり、特に中価格帯（5,000～10,000円）の宿泊施設を選択する層を増やすための対策が必要です。

#### 4. レンタサイクル利用が少ない

利用者の大半（139人）が自転車を持ち込んでおり、レンタサイクルの利用者は16人と少数派です。観光目的での初心者や訪問者にとって、レンタサイクルの利用が魅力的に映っていない可能性があります。

#### 5. 高消費層のニーズへの対応

消費額が「10,000円以上」の層が52人（全体の約33%）存在し、高額消費者が一定数いるものの、彼らに対応する高付加価値サービスが不足していることが課題です。

#### 6. 地元サイクリストの消費額が低い傾向

サイクリング中の消費額が「0円」と回答した16人の多くは鹿児島県内のサイクリストと考えられます。地元住民は食事を自宅で済ませたり、地元慣れ親しんでいるため、観光地や店舗での消費行動が発生しにくいことが課題です。また、宿泊を伴うサイクリング旅行をしている地元サイクリストがほとんどおらず、地元を観光地として新たな視点で楽しむ機会が不足しています。宿泊型プランの認知度や魅力的な提案が不足している可能性があります。

### 【展望】

#### 1. 地元サイクリスト向けの経済波及効果の向上

地元サイクリストがサイクリング中に立ち寄る飲食店やカフェ、観光スポットを増やし、消費を促進する仕組みを整備します。また、地元特産品や限定グッズの購入を促進するキャンペーンを展開することで、経済効果を高められます。

#### 2. 宿泊型サイクリング観光の推進

宿泊を伴うサイクリングプランを提案し、観光地や宿泊施設との連携を強化します。例えば、「サイクリング＋温泉」や「サイクリング＋地元グルメ」といったテーマを設定することで、宿泊客を増やすことが期待できます。

#### 3. レンタサイクルサービスの拡充

サイクリストが自転車を持たずにサイクリングが始められるように、主要駅にスポーツタイプのレンタサイクルや、観光初心者や訪問者が気軽に利用できるよう、電動アシスト自転車を導入し、主要な観光地や交通の拠点にレンタサイクルステーションを設置し、利用を促進します。

#### 4. 高消費層向けプレミアムサービスの提供

高額消費者に向けて、特別な体験を提供するプレミアムツアーを企画します。例えば、プロのガイドによるプライベートツアー、地元の高級食材を楽しむグルメライド、高品質な宿泊施設との連携プランなどが挙げられます。

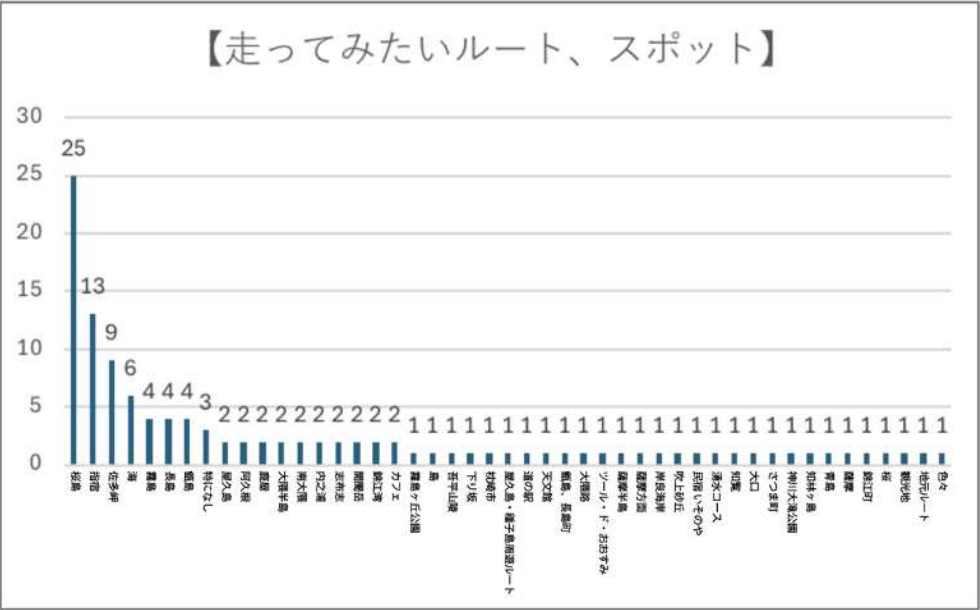
#### 5. 中価格帯宿泊施設の活性化

宿泊費が「0円」の層を有料宿泊施設に誘導するため、手頃な価格帯（5,000～10,000円）の宿泊プランを提供します。また、宿泊施設での特典（地元特産品のプレゼント、観光施設の割引など）を用意することで利用を促進します。

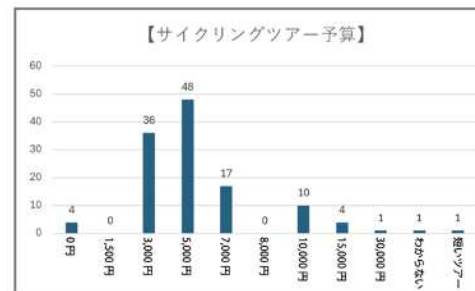
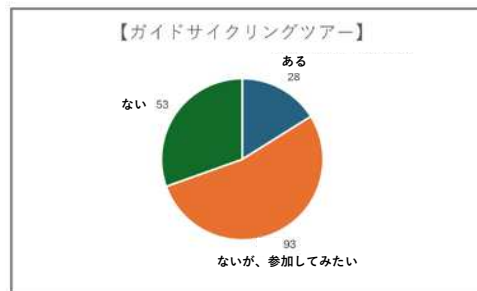
#### 6. 地元サイクリスト優待制度の導入

地元の飲食店やカフェ、観光施設を「サイクリスト応援スポット」として認定し、サイクリング中に利用することで割引や特典を提供する仕組みを構築します。例えば、特定の店舗でスタンプを集める「サイクルスタンプラリー」を実施することで、楽しみながら消費を促進します。

|    | 【走ってみたいルート、スポット】 |     |
|----|------------------|-----|
| 1  | 桜島               | 25  |
| 2  | 指宿               | 13  |
| 3  | 佐多岬              | 9   |
| 4  | 海                | 6   |
| 5  | 霧島               | 4   |
| 6  | 長島               | 4   |
| 7  | 甌島               | 4   |
| 8  | 特になし             | 3   |
| 9  | 屋久島              | 2   |
| 10 | 阿久根              | 2   |
| 11 | 鹿屋               | 2   |
| 12 | 大隈半島             | 2   |
| 13 | 南大隅              | 2   |
| 14 | 内之浦              | 2   |
| 15 | 志布志              | 2   |
| 16 | 開聞岳              | 2   |
| 17 | 錦江湾              | 2   |
| 18 | カフェ              | 2   |
| 19 | 霧島ヶ丘公園           | 1   |
| 20 | 島                | 1   |
| 21 | 吾平山陵             | 1   |
| 22 | 下り坂              | 1   |
| 23 | 枕崎市              | 1   |
| 24 | 屋久島・種子島周遊ルート     | 1   |
| 25 | 道の駅              | 1   |
| 26 | 天文館              | 1   |
| 27 | 甌島、長島町           | 1   |
| 28 | 大隈路              | 1   |
| 29 | ツール・ド・おおすみ2024   | 1   |
| 30 | 薩摩半島             | 1   |
| 31 | 薩摩方面             | 1   |
| 32 | 岸良海岸             | 1   |
| 33 | 吹上砂丘             | 1   |
| 34 | 民宿 いそや           | 1   |
| 35 | 湧水コース            | 1   |
| 36 | 知覧               | 1   |
| 37 | 大口               | 1   |
| 38 | さつま町             | 1   |
| 39 | 神川大滝公園           | 1   |
| 40 | 知林ヶ島             | 1   |
| 41 | 青島               | 1   |
| 42 | 薩摩               | 1   |
| 43 | 錦江町              | 1   |
| 44 | 桜                | 1   |
| 45 | 観光地              | 1   |
| 46 | 地元の方ならではのルート     | 1   |
| 47 | 色々               | 1   |
|    |                  | 117 |



| 鹿児島県サイクリングツアーについて |              |     |
|-------------------|--------------|-----|
| 【ガイドサイクリングツアー】    |              |     |
| 1                 | ある           | 28  |
| 2                 | ないが、参加してみたい  | 93  |
| 3                 | ないし興味もない     | 53  |
|                   |              | 174 |
| 【サイクリングツアー予算】     |              |     |
| 1                 | 0円           | 4   |
| 2                 | 1,500円       | 0   |
| 3                 | 3,000円       | 36  |
| 4                 | 5,000円       | 48  |
| 5                 | 7,000円       | 17  |
| 6                 | 8,000円       | 0   |
| 7                 | 10,000円      | 10  |
| 8                 | 15,000円      | 4   |
| 9                 | 30,000円      | 1   |
| 10                | わからない        | 1   |
| 11                | もう少し短いツアーを希望 | 1   |
|                   |              | 121 |



## 【結果から見えてきた課題】

### 1.ガイド付きサイクリングツアー参加経験者の少なさ

鹿児島県内でガイド付きサイクリングツアーに「参加したことがある」と答えたサイクリストは28人と、全体の20%程度に留まっています。一方で、「参加してみたい」と答えた人が93人おり、潜在的な需要があるものの、具体的な参加には至っていない状況です。

### 2.国内サイクリストの低価格志向

予算に関する回答を見ると、「5,000円以下」を希望する層が84人（全体の約71%）を占めており、「10,000円以上」を支払う意思を持つ層は15人（約13%）にとどまります。インバウンド向けツアーの相場が10,000円を超えることを考えると、国内市場では高価格帯ツアーの需要が限定的であることが明らかです。

### 3.ツアー内容への期待と魅力

「参加してみたい」と答えた層を具体的な行動に結びつけるためには、ツアー内容の魅力や付加価値が十分に伝えられていない可能性があります。「もっと短いツアーが良い」との意見もあり、現行ツアーの時間やコース設定が一部の層には適していない可能性があります。

### 4.高価格帯ツアーの訴求力

国内市場では低価格帯を好む傾向が強い中で、高価格帯（10,000円以上）のツアーを選ぶ層に訴求する付加価値（特別体験、サービス）が不足していることが課題です。

### 5.初心者層やライトユーザーへの対応

国内サイクリストは初心者層や観光目的のユーザーも多く含まれる可能性があります、これらの層が気軽に参加できる内容や価格設定が課題です。

**【展望】****1.低価格帯ツアーの充実**

国内サイクリストが最も希望する価格帯である「3,000～5,000円」のツアーを充実させます。例えば、半日程度の短時間ツアーや、初心者向けに難易度を抑えた観光体験型ツアーを提供します。

**2.プレミアムツアーの付加価値強化**

高価格帯（10,000円以上）を希望する層には、鹿児島島の自然や文化を生かした特別な体験を提供します。たとえば、プロのサイクリストによる指導付きツアー、地元の高級食材を使った食事が含まれるルート設計、または宿泊を組み合わせたプレミアムプランを提案します。

**3.短時間・初心者向けツアーの設計**

「もっと短いツアーが良い」という意見に対応し、初心者や観光目的のサイクリストが気軽に参加できる短時間ツアー（2時間以内）を提供します。短い距離で地元の観光スポットを巡る内容を設定します。

**4.国内市場とインバウンド市場の差別化**

国内向けには低価格・短時間・手軽さを重視したツアーを、インバウンド向けには高価格帯・特別感を重視したツアーを展開することで、両市場のニーズに対応します。

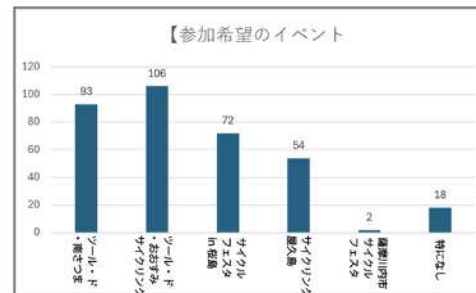
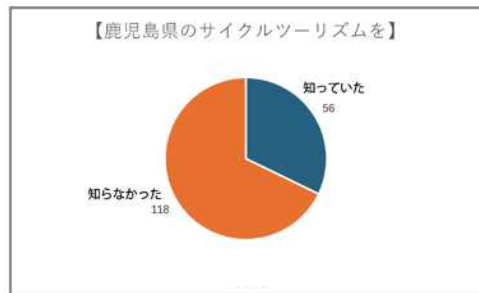
**5.視覚的プロモーションの強化**

ツアーの魅力を視覚的に伝えるため、SNSや観光ポータルサイトで具体的なツアー内容や参加者の声を発信します。特に「地元の絶景を巡る旅」や「特産品を味わうサイクリング」のような具体的なシナリオを示します。

**6.地元住民と観光客の橋渡し**

地元住民と観光客が一緒に楽しめるイベントを企画し、観光だけでなく地域振興にもつながる取り組みを目指します。

| 鹿児島県の取り組み        |                     |     |
|------------------|---------------------|-----|
| 【鹿児島県のサイクルツーリズム】 |                     |     |
| 1                | 知っていた               | 56  |
| 2                | 知らなかった              | 118 |
| 【参加希望イベント】       |                     |     |
| 1                | ツール・ド・南さつま          | 93  |
| 2                | ツール・ド・おおすみサイクリング    | 106 |
| 3                | サイクルフェスタin桜島        | 72  |
| 4                | サイクリング屋久島&屋久島ヒルクライム | 54  |
| 5                | 薩摩川内市サイクルフェスタ       | 2   |
| 6                | 特になし                | 18  |



## 【結果から見えてきた課題】

### 1. 県外サイクリストへの認知度

鹿児島県内のサイクリストは比較的取り組みを「知っている」層が多い一方、県外サイクリストへの情報発信が不足していることが課題です。県外のサイクリストが鹿児島県をサイクリング目的地として認識しておらず、県外からの誘客が進んでいない可能性があります。

### 2. イベントへの関心の偏り

「ツール・ド・おおすみ」（106人）や「ツール・ド・南さつま」（93人）といった大規模イベントには関心が集まっている一方で、「薩摩川内市サイクルフェスタ」にはわずか2人しか興味を示していません。地域密着型イベントや小規模な取り組みが十分に注目されておらず、認知度や魅力が発信されていないことが伺えます。

### 3. 県外サイクリストとの接点

県外サイクリストに鹿児島の取り組みを広める具体的な施策が不足しているため、鹿児島県のサイクルツーリズムが他県のサイクリングスポットに埋もれてしまっている状況です。

### 4. 特定地域への注目の集中

「ツール・ド・南さつま」や「ツール・ド・おおすみ」など、特定地域のイベントに関心が集中し、他の地域やイベントの存在感が薄いことが課題です。全体のサイクルツーリズムの魅力を十分に伝えきれていない可能性があります。

### 5. 非関心層の存在

「特になし」と答えた層が18人（全体の約10%）存在しており、イベントそのものやサイクリングへの関心がないサイクリストへの訴求が難しい現状があります。

**【展望】****1.県外サイクリストへの情報発信強化**

県外サイクリストに鹿児島県のサイクルツーリズムを広めるため、全国規模のサイクリングイベントやSNS、観光ポータルサイトを活用したプロモーションを強化します。具体的には、鹿児島の観光資源を活用した特別なサイクリング体験を視覚的に訴求し、「行ってみたい」と思わせるような情報発信が必要です。

**2.小規模イベントの魅力向上**

「薩摩川内市サイクルフェスタ」のような小規模イベントに注目を集めるため、地元の特産品や観光資源を活用したテーマ性のあるイベントを企画します。たとえば、「地元グルメを楽しむサイクリングツアー」や「自然を満喫するエコライド」などが効果的です。

**3.県外誘客のための広域連携**

九州全体のサイクリングスポットと連携し、鹿児島県をその中心として位置づける広域的なプロモーションを展開します。特に、他県からのアクセスルートや複数県を巡るモデルコースを提案することで、県外サイクリストの誘致が期待できます。

**4.ターゲット層別のイベント設計**

初心者層やライトユーザーには短時間で楽しめるルートやイベントを提供し、中・上級者向けには挑戦的な長距離ルートや標高差のあるコースを設定します。また、観光目的のサイクリスト向けに、サイクリングと観光資源を組み合わせたプランを用意します。

**5.地元と県外の認知度ギャップの解消**

地元サイクリストは県内の取り組みをある程度知っているものの、情報が県外まで届いていないことを踏まえ、地元イベントやルートの紹介を全国規模で行う必要があります。全国的な自転車雑誌やオンラインプラットフォームで特集を組むなど、積極的なメディア活用が求められます。

**【国内周遊型の取り組み案】****・地元サイクリストの消費促進施策**

サイクリスト向けに特典（割引、ドリンクサービス、駐輪スペースの確保）を提供する「サイクルフレンドリー認定制度」を導入します。さらに、スタンプラリーや特典付きの「サイクルパス」を発行し、地域内での消費を促進します。

**・宿泊型サイクリング観光の推進**

宿泊とセットになったサイクリングプランを造成し、「サイクリング+温泉」「サイクリング+地元グルメ」などのテーマツアーを宿泊施設と共同で企画します。また、自転車持ち込み可能なホテルのリストを作成し、宿泊促進キャンペーンを展開します。さらに、宿泊施設と連携し、サイクリスト向けの特典（無料洗車・メンテナンススペースの設置、朝食提供）を充実させるとともに、地元の旅館やゲストハウスと提携し、「サイクルツーリズム特別プラン」を開発します。

**・県外サイクリストへのプロモーション**

SNSや観光ポータルサイトを活用し、「鹿児島ならではのサイクリング体験」の情報発信を強化します。インフルエンサーによるプロモーションや動画コンテンツの制作を行い、認知度の向上を図ります。また、鹿児島を起点とする長距離周遊ルートを整備し、九州全体のサイクリストを取り込むことで、広域的なサイクルツーリズムの活性化を目指します。

## 国内レンタサイクル

回答数：332

## 1. 調査概要

本調査は、鹿児島県内のレンタサイクル利用状況を把握し、観光振興および利用促進のための課題と対策を検討することを目的に実施。対象は国内の観光客およびサイクリストで、レンタサイクルの利用実態、認知度、利便性、観光資源との連携状況などを分析した。

調査結果の概要

- ・回答者332名のうち、レンタサイクルを利用したことがあるのは15名（約10%）、利用してみたいと考えているのは19名。
- ・大多数（97名）は利用経験も利用意向もなく、レンタサイクルの認知度が低い。
- ・家族やグループでの利用ニーズはあるが、対応するサービスが不足。
- ・観光目的での利用イメージが湧かず、レンタサイクルと観光ルートとの連携が不十分。

## 2. 主な課題と対策案

### (1) 認知度の低さ

課題：レンタサイクルの存在や利用方法が十分に認知されておらず、観光客の利用意欲が低い。

対策：SNS・観光ポータルサイト・旅行代理店を活用し、レンタサイクルの利用方法や魅力を積極的にPR。

### (2) 観光との連携不足

課題：観光地とレンタサイクルの連携が不十分。

対策：観光地を巡るサイクリングマップを作成し、ルート上に立ち寄れる観光・飲食スポットを明示。

### (3) 初心者・ライトユーザー向けサービス不足

課題：サイクリング初心者や家族連れが気軽に利用できるサービスが不足。

対策：電動アシスト自転車の導入や、初心者向けの短時間・短距離ルートを整備し、安心して利用できる環境を提供。

### (4) レンタル拠点の不足と利便性の低さ

課題：主要駅・空港・観光地にレンタル拠点が少なく、利用者の利便性が低い。

対策：主要観光地・駅・空港にレンタル拠点を設置し、貸出・返却がスムーズにできるワンウェイレンタルシステムを導入。

### (5) プロモーション不足

課題：レンタサイクルを利用する具体的なイメージが湧かず、興味を持たれにくい。

対策：SNSや動画コンテンツを活用し、観光客がレンタサイクルを利用する楽しさを視覚的に伝えるプロモーションを展開。

## 3. 今後の展開

### (1) レンタサイクルの認知度向上と利用促進

- ・SNSや観光ポータルサイトでの情報発信を強化し、旅行者向けにレンタサイクルの魅力をアピール。

### (2) 観光地との連携強化

- ・サイクリングマップを作成し、初心者でも安心して楽しめるルートを提案。

### (3) 初心者・家族向けサービスの充実

- ・電動アシスト自転車の導入を拡大し、家族向けに、子ども用自転車やタンデム自転車（2人乗り）の導入を検討。

### (4) レンタル拠点の拡充と利便性向上

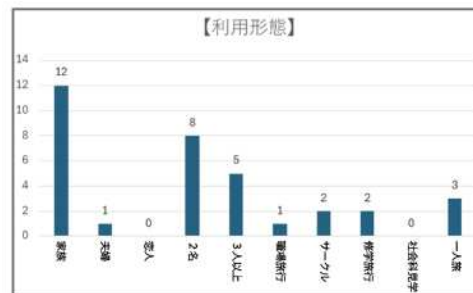
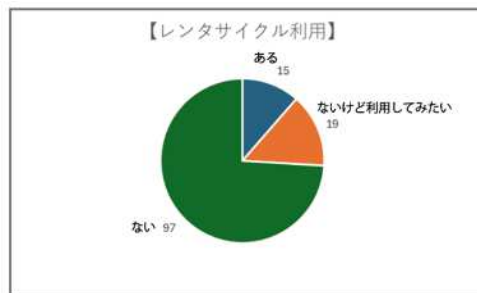
- ・交通機関と連携しセットプランを開発。

### (5) プロモーション活動の強化

- ・SNSやYouTubeで、レンタサイクルを活用した観光の楽しさを発信。

国内レンタサイクルの利用促進には、認知度向上、観光との連携強化、初心者向けサービスの充実、レンタル拠点の拡充、プロモーション強化が不可欠。誰でも気軽にレンタサイクルを利用できる環境を整備し、鹿児島の観光資源をより魅力的に活用する施策が求められる。

| 鹿児島県レンタサイクルについて |             |     |
|-----------------|-------------|-----|
| 【レンタサイクル利用】     |             |     |
| 1               | ある          | 15  |
| 2               | ないけど利用してみたい | 19  |
| 3               | ない          | 97  |
|                 |             | 131 |
| 【利用形態】          |             |     |
| 1               | 家族          | 12  |
| 2               | 夫婦          | 1   |
| 3               | 恋人          | 0   |
| 4               | 友達と2名       | 8   |
| 5               | 友達と3名以上     | 5   |
| 6               | 職場旅行        | 1   |
| 7               | 趣味、サークルの仲間と | 2   |
| 8               | 修学旅行        | 2   |
| 9               | 社会科見学       | 0   |
| 10              | 一人旅         | 3   |
|                 |             | 34  |



## 【結果から見てきた課題】

### 1. レンタサイクル利用者数

鹿児島県内でレンタサイクルを利用したことがある人は15人（全体の約10%）、利用してみたいと考えている人も19人にとどまり、大半（97人）が利用経験も意欲もない状況です。レンタサイクル自体の認知度が低い、もしくはその利便性や楽しさが十分に伝わっていない可能性があります。

### 2. 家族やグループ利用に特化したサービス

レンタサイクルを利用した、または利用してみたいと回答した人の多くが「家族」や「友達と利用」を希望しています。しかし、これらの層に対応した具体的なサービスやルートが不足しており、利用意欲が行動に結びついていないと考えられます。

### 3. 観光目的での利用イメージ

レンタサイクルを活用して楽しむことをイメージできない人が多いことが課題です。特に「どのように楽しめるのか」「どこを巡るべきか」といった具体的なビジョンが不足しており、利用促進の大きな障壁となっています。

### 4. 観光地やルートとの連携

観光地やサイクリングルートとレンタサイクルの連携が不十分なため、「どこで何を楽しめるか」が明確になっていません。結果として、鹿児島でのサイクリングの魅力が十分に伝わらない状況です。

### 5. 初心者や観光客への訴求力

観光客やサイクリング初心者に向けた「誰でも手軽に楽しめる」サービスが不足しています。初めての方でも安心して利用できる電動アシスト自転車や、短時間で完結するプランの提供が求められます。

### 6. プロモーション活動

レンタサイクルの楽しみ方や鹿児島ならではの魅力を視覚的に伝えるプロモーションが不足しています。その結果、利用者がレンタサイクルでの楽しみ方を具体的に想像できず、興味喚起が弱い状況です。

### 7. 初心者やライトユーザーへの訴求不足

初心者やライトユーザーが利用しやすいサービスが整備されていない可能性があります。特に「どのように楽しめるのか」「どのルートが適しているのか」といった具体的な利用イメージを描けていないことが大きな障壁です。

**【展望】****1.利用イメージの明確化と訴求**

「レンタサイクルでどのように楽しめるか」を具体的に伝える取り組みが必要です。サイクリング中に楽しめる観光地やグルメ、自然景観をビジュアルやストーリーで表現し、利用者が楽しみを想像しやすいようにします。

**2.家族やグループ向けのプラン充実**

家族や友人と一緒に楽しめるサイクリングルートやアクティビティを提案します。例えば、家族向けに平坦なルートを巡る「ピクニックサイクリング」や、友人グループ向けの「絶景フォトスポットツアー」などが考えられます。

**3.観光地や地元体験との連携**

桜島や大隅半島の滝など、観光スポットを巡るサイクリングルートを整備し、地元の特産品や文化体験を組み込んだプランを提供します。観光地と連携することで、利用者がより具体的に楽しみをイメージできる環境を整えます。

**4.初心者向けサービスの充実**

電動アシスト自転車の導入や、初心者向けの短時間ツアーを提供することで、初めての方でも安心して楽しめる環境を整備します。また、観光地での返却可能なワンウェイサービスを充実させることで、利便性を高めます。

**5.視覚的プロモーションの強化**

SNSや観光ポータルサイトを活用し、レンタサイクルを使った楽しみ方を動画や写真で具体的に発信します。「自転車で楽しむ鹿児島島の魅力」をテーマに、観光客が共感しやすいストーリー性のあるコンテンツを作成します。

**6.利用促進イベントの開催**

初心者や観光客向けに、レンタサイクルを体験できるイベントを定期的で開催します。たとえば、「桜島を走ろう！サイクリング体験会」や「地元のグルメを巡るサイクルツアー」など、誰でも参加しやすい内容が効果的です。

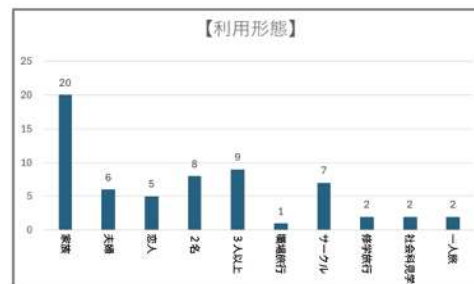
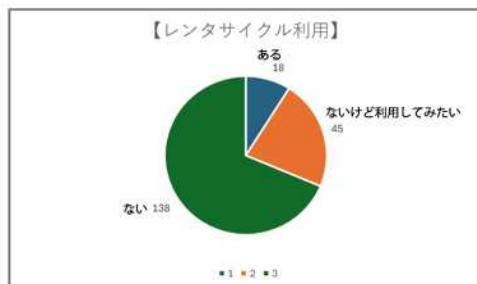
**【国内拠点型レンタサイクルの推進案】****・拠点の拡充とネットワークの強化**

主要観光地（鹿児島市、桜島、霧島、大隅半島、指宿など）や駅・空港・港にレンタサイクル拠点を設置し、各拠点での貸出・返却が可能な「ワンウェイレンタルシステム」を導入し、自由度を高めます。また、交通機関との連携を強化し、バス・フェリー・鉄道と組み合わせた「サイクルバス」を発行し、利便性を高めます。

**・旅行会社・交通機関との連携プロモーション**

JR九州や高速バス会社と連携し、「新幹線＋レンタサイクル」や「観光列車＋サイクリング」などのセットプランを開発します。また、旅行代理店と協力し、レンタサイクルを組み込んだ旅行パッケージの造成します。

| 鹿児島県レンタサイクルについて |             |     |
|-----------------|-------------|-----|
| 【レンタサイクル利用】     |             |     |
| 1               | ある          | 18  |
| 2               | ないけど利用してみたい | 45  |
| 3               | ない          | 138 |
|                 |             | 201 |
| 【利用形態】          |             |     |
| 1               | 家族          | 20  |
| 2               | 夫婦          | 6   |
| 3               | 恋人          | 5   |
| 4               | 友達と2名       | 8   |
| 5               | 友達と3名以上     | 9   |
| 6               | 職場旅行        | 1   |
| 7               | 趣味、サークルの仲間と | 7   |
| 8               | 修学旅行        | 2   |
| 9               | 社会科見学       | 2   |
| 10              | 一人旅         | 2   |
|                 |             | 37  |



## 【結果から見えてきた課題】

### 1.自転車持ち込み志向

サイクリストの多くが自分の自転車を使いたいと考えており、それがレンタサイクルの利用率の低さにつながっています。特に中・上級者層は、自分のバイクでの走行性能やフィット感を重視しており、レンタサイクルを利用するメリットを感じていないことが課題です。

### 2.レンタサイクルの品質

レンタサイクルの性能や整備状況が不明瞭であるため、サイクリストにとって魅力的に映らない可能性があります。特にスポーツサイクリングをする層は、性能の高い自転車を求める傾向が強いです。

### 3.利用イメージの具体性

「レンタサイクルを使ってどのように楽しむか」が明確でないため、利用を検討する動機が生まれにくい状況です。初心者や観光目的のライトユーザーにとっても、利用の価値が十分に伝わっていません。

### 4.自転車持ち込みとの共存策

自転車を持ち込みたい層に対するサービスと、レンタサイクル利用を促進する施策が競合しているため、両方のニーズを満たす戦略が欠けてる可能性があります。

**【展望】****1.スポーツサイクリスト向けの高品質レンタサイクルの提供**

自転車持ち込み派が納得できるような、高性能なロードバイクやマウンテンバイクをレンタサイクルとして提供します。信頼感を高めるために、最新モデルや有名メーカーのバイクを取り揃え、定期的なメンテナンス情報を公開します。

**2.手ぶらで参加できる利便性の訴求**

旅行先で自転車を持ち込む手間を省ける利便性を強調します。特に、「電車や飛行機でアクセスしても、そのままサイクリングを楽しめる」というメッセージを伝えることで、観光目的のサイクリストに訴求します。

**3.観光地限定の特別体験を提供**

レンタサイクル利用者限定で、観光地への特別なアクセスや体験を提供します。

**4.自転車持ち込みとレンタサイクルの共存モデル**

- ・族連れやグループ利用への対応: サイクリスト本人は自転車を持ち込み、同行者（家族や友人）がレンタサイクルを利用できるプランを提案します。これにより、自転車を持たない層の利用を促進します。
- ・補完利用の提案: サイクリストが自転車を持ち込んでいない短時間や、一部の観光地巡りにレンタサイクルを利用する柔軟な使い方を提案します。

**5.レンタサイクルと観光の組み合わせ**

- ・観光＋サイクリング体験: 地元の特産品を巡るルートや、温泉地を経由するコースなど、観光目的に特化したプランを提供します。
- ・短距離・初心者向けコース: 観光客やライトユーザー向けに、体力や経験を問わず楽しめる短距離コースを整備します。

**6.プロモーション活動の強化**

- ・視覚的訴求としてレンタサイクルを使って楽しむ観光の魅力を動画や写真で発信します。特に「手ぶらで楽しいサイクリング旅行」を具体的にイメージさせます。
- ・口コミの活用: 実際に利用した人の体験談やレビューをプロモーションに活用し、利用者の信頼を向上させます。

**【国内周遊型レンタサイクルの推進案】****・高品質レンタサイクルの導入と訴求**

スポーツサイクリスト向けのプレミアムレンタサイクルの提供、ロードバイクやMTBの高性能モデルをラインナップ（有名ブランドや最新モデルを導入）カスタマイズオプションの提供（サドル・ペダルの変更、サイズ調整など）整備品質の透明化（レンタル車両のメンテナンス情報を公式サイトで公開）

**・サイクリストの利便性を高めるサービスの提供**

交通機関と連携した「手ぶらサイクリング」を推進し、新幹線・フェリー・空港と連携した「サイクルパス」を提供することで、到着後すぐにレンタサイクルを利用できる環境を整備します。

海外拠点型

回答数：122

## 1. 調査概要

海外拠点型サイクリングとは、訪日外国人が観光地を拠点に、10～20km程度の距離を3時間から1日かけて巡る観光スタイル。本調査は、鹿児島県のサイクリング観光におけるインバウンド需要の現状を把握し、観光振興策の改善に活用することを目的に実施。対象は訪日外国人で、サイクリング経験、消費動向、レンタサイクルの利用状況、言語対応の課題などを分析した。

### 調査結果の概要

- ・回答者122名のうち、鹿児島県でサイクリングをした外国人は6名と極めて少ない。
- ・他の地域でのサイクリング経験者（40名）と比較して、鹿児島の認知度が低い。
- ・レンタサイクルの利用者は多いが、予約手続きや案内の多言語対応が不十分。
- ・高額消費層（5万円以上の支出意向）が33%いるが、対応するサービスが不足。

## 2. 主な課題と対策案

### (1) 認知度の低さ

課題：鹿児島県がサイクリング目的地として認識されておらず、旅行計画に組み込まれていない。

対策：SNSや旅行メディアを活用し、鹿児島のサイクリングの魅力を海外向けに発信。

### (2) 多言語対応の不足

課題：レンタサイクルの予約手続きや案内が英語・中国語・韓国語などに対応しておらず、外国人旅行者が利用しにくい。

対策：多言語対応のガイドマップやアプリを開発し、観光案内所やレンタサイクル拠点に多言語対応スタッフを配置。

### (3) 高額消費層への対応不足

課題：5万円以上支出する高額消費層が一定数いるが、ラグジュアリー向けのサイクリングサービスが不足。

対策：専属ガイド付きプライベートツアーや、高級宿泊施設と組み合わせたプレミアムサイクリングツアーを造成。

### (4) 観光資源との連携不足

課題：サイクリングと鹿児島の観光資源（温泉、桜島、屋久島など）が十分に組み合わせられていない。

対策：「サイクリング＋トレッキング」などの複合型ツアーを造成。

## 3. 今後の展開

### (1) 認知度向上とプロモーション強化

- ・SNSやYouTubeを活用し、鹿児島のサイクリングの魅力を映像や写真で海外向けに発信。
- ・海外の旅行博や観光イベントに出展し、鹿児島のサイクルツーリズムをPR。

### (2) 多言語対応の充実

- ・サイクリングルート、レンタサイクル案内、観光ガイドを英語・中国語・韓国語などで提供。

### (3) 高額消費層向けプレミアムサービスの展開

- ・高級宿泊施設と連携し、専属ガイド付きのサイクリングツアーを造成。

### (4) サイクリングと観光資源の融合

- ・「桜島サイクリング＋地元グルメツアー」「屋久島サイクリング＋トレッキング」など、鹿児島県内の観光資源と連携したプランを展開。

### (5) インバウンド向けレンタサイクルの強化

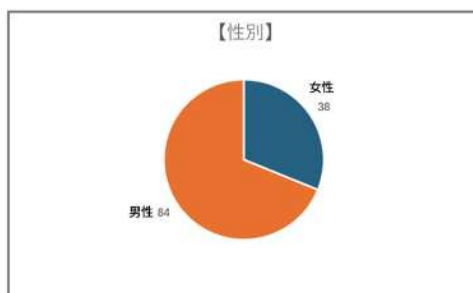
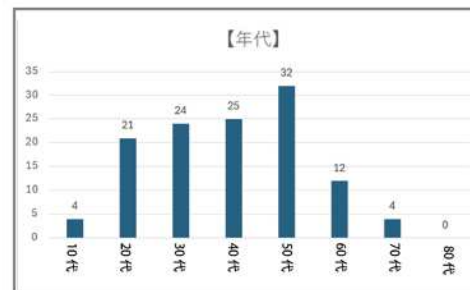
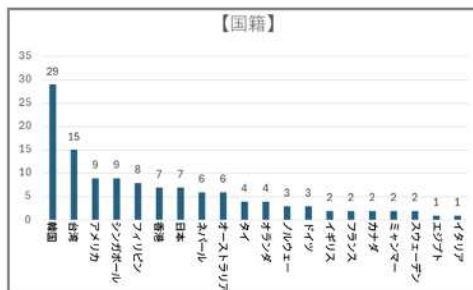
- ・主要観光地・空港・駅にレンタサイクル拠点を設置し、予約や支払いのキャッシュレス対応を強化。

海外拠点型サイクルツーリズムの活性化には、認知度向上、多言語対応の充実、高額消費層向けサービスの展開、観光資源との連携強化、インバウンド向けレンタサイクルの利便性向上が必要。鹿児島の豊富な観光資源を活かし、外国人旅行者に魅力的なサイクリング体験を提供する施策が求められる。

## 【海外拠点型】 基本情報

26

|    | 【国籍】    |     |
|----|---------|-----|
| 1  | 韓国      | 29  |
| 2  | 台湾      | 15  |
| 3  | アメリカ    | 9   |
| 4  | シンガポール  | 9   |
| 5  | フィリピン   | 8   |
| 6  | 香港      | 7   |
| 7  | 日本      | 7   |
| 8  | ネパール    | 6   |
| 9  | オーストラリア | 6   |
| 10 | タイ      | 4   |
| 11 | オランダ    | 4   |
| 12 | ノルウェー   | 3   |
| 13 | ドイツ     | 3   |
| 14 | イギリス    | 2   |
| 15 | フランス    | 2   |
| 16 | カナダ     | 2   |
| 17 | ミャンマー   | 2   |
| 18 | スウェーデン  | 2   |
| 19 | エジプト    | 1   |
| 20 | イタリア    | 1   |
|    |         | 122 |
|    | 【年代】    |     |
| 1  | 10代     | 4   |
| 2  | 20代     | 21  |
| 3  | 30代     | 24  |
| 4  | 40代     | 25  |
| 5  | 50代     | 32  |
| 6  | 60代     | 12  |
| 7  | 70代     | 4   |
| 8  | 80代     | 0   |
|    |         | 122 |
|    | 【性別】    |     |
| 1  | 女性      | 38  |
| 2  | 男性      | 84  |
|    |         | 122 |



## 【海外拠点型の説明】

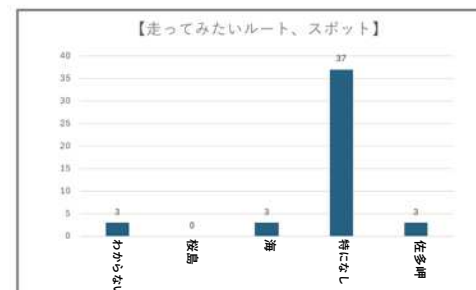
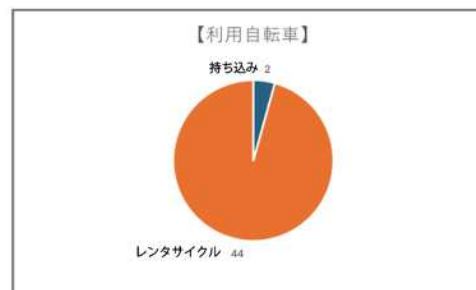
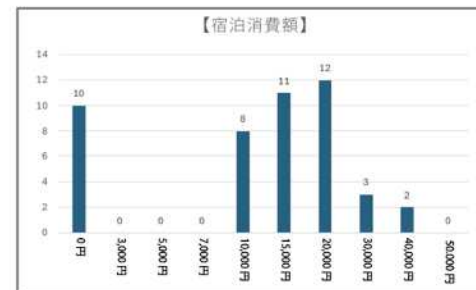
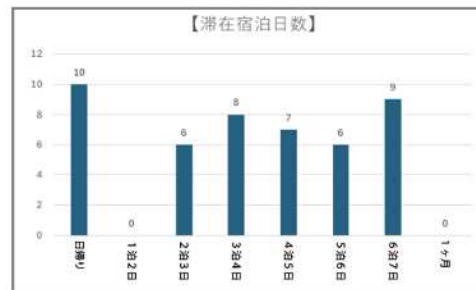
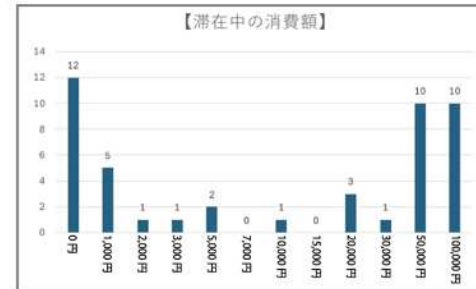
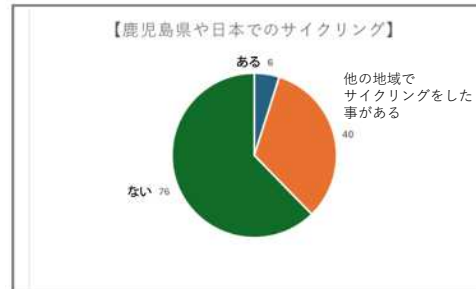
海外拠点型（インバウンド）サイクルツーリズムとは、訪日観光客が特定の観光地を拠点に、10km～20km程度の距離を3時間から1日かけてサイクリングを楽しむ観光スタイルを指します。本調査では、サイクリングの観光における位置付け、ガイド付きサイクリングツアーのニーズ、サイクリング環境の評価、ターゲット層の特性、地域資源との連携を中心に分析を行いました。

- ・観光におけるサイクリングの位置付け
- ・ガイド付きサイクリングツアーのニーズ
- ・サイクリング環境の評価
- ・ターゲット層の特性
- ・地域資源との連携

## 【アンケート収集方法】

1. Bike is Lifeの顧客へのアンケート
2. 海外在住者へのアンケート
3. 鹿児島中央駅、鹿児島空港でのアンケート

| 【鹿児島県や日本でのサイクリング】 |                    |     |
|-------------------|--------------------|-----|
| 1                 | ある                 | 6   |
| 2                 | 他の地域でサイクリングをした事がある | 40  |
| 3                 | ない                 | 76  |
|                   |                    | 122 |
| 【サイクリング中の消費額】     |                    |     |
| 1                 | 0円（日帰り）            | 12  |
| 2                 | 1,000円             | 5   |
| 3                 | 2,000円             | 1   |
| 4                 | 3,000円             | 1   |
| 5                 | 5,000円             | 2   |
| 6                 | 7,000円             | 0   |
| 7                 | 10,000円            | 1   |
| 8                 | 15,000円            | 0   |
| 9                 | 20,000円            | 3   |
| 10                | 30,000円            | 1   |
| 11                | 50,000円            | 10  |
| 12                | 100,000円           | 10  |
|                   |                    | 46  |
| 【滞在宿泊日数】          |                    |     |
| 1                 | 日帰り                | 10  |
| 2                 | 1泊2日               | 0   |
| 3                 | 2泊3日               | 6   |
| 4                 | 3泊4日               | 8   |
| 5                 | 4泊5日               | 7   |
| 6                 | 5泊6日               | 6   |
| 7                 | 6泊7日               | 9   |
| 8                 | 1ヶ月                | 0   |
|                   |                    | 46  |
| 【宿泊消費額】           |                    |     |
| 1                 | 0円（日帰り）            | 10  |
| 2                 | 3,000円             | 0   |
| 3                 | 5,000円             | 0   |
| 4                 | 7,000円             | 0   |
| 5                 | 10,000円            | 8   |
| 6                 | 15,000円            | 11  |
| 7                 | 20,000円            | 12  |
| 8                 | 30,000円            | 3   |
| 9                 | 40,000円            | 2   |
| 10                | 50,000円以上          | 0   |
|                   |                    | 46  |
| 【利用自転車】           |                    |     |
| 1                 | 持ち込み               | 2   |
| 2                 | レンタサイクル            | 44  |
|                   |                    | 46  |
| 【走ってみたいルート、スポット】  |                    |     |
| 1                 | わからない              | 3   |
| 2                 | 桜島                 | 0   |
| 3                 | 海                  | 3   |
| 4                 | 特になし               | 37  |
| 5                 | 佐多岬                | 3   |
|                   |                    | 46  |



## 【結果から見えてきた課題】

### 1. サイクリングをアクティビティとして選ばない傾向

鹿児島県でサイクリングをした外国人旅行者は6人ととどまり、日本の他地域での経験者（40人）と比べても少ない状況です。鹿児島がサイクリング目的地としての認知度が低く、滞在中のアクティビティとして選ばれにくいことが課題として浮かび上がりました。

### 2. 多言語対応

外国人旅行者がサイクリングに参加する際の多言語対応が十分でないことが指摘されます。サイクリングルートの地図や案内、レンタサイクルの利用方法、観光情報などが現地の言語（英語、中国語、韓国語など）で提供されていないため、利用をためらう可能性があります。

### 3.高額消費層への対応

50,000円や100,000円を支出する高額消費層が約33%存在しますが、高品質で特別感のあるツアーやサービスが提供されていないため、鹿児島での消費につながっていません。

### 4.レンタサイクル利用時の利便性

外国人旅行者の中でレンタサイクル利用者が多数を占める一方で、予約手続きや利用方法の案内が複雑だったり、選べる自転車の種類が少ないことが障壁となっています。

### 5.サイクリングを含む観光プラン

滞在中の中・長期旅行者が多いにも関わらず、サイクリングを他の観光資源と組み合わせた魅力的なプランが不足しており、旅行者の関心を引きつけられていません。

## 【展望】

#### 1.多言語対応の強化

サイクリングルート、イベント案内、レンタサイクル利用手順などを英語、中国語、韓国語、フランス語などサイクリング関連情報の多言語化での提供が重要です。地図やアプリの多言語対応も進め、外国人旅行者が使いやすい環境を整備します。また、レンタサイクルステーションや観光案内所に、多言語対応が可能なスタッフを配置し、旅行者へのサポートを充実させます。

#### 2.サイクリングを観光アクティビティに組み込む

サイクリングと鹿児島の観光資源（温泉、桜島、屋久島）を組み合わせたテーマ型プランを提案します。例えば、「桜島サイクリングと地元グルメツアー」や「屋久島サイクリング＋トレッキング」のように、観光資源との連携したサイクリングツアーの開発が必要です。また、サイクリング初心者や短時間滞在の旅行者向けに、手軽に楽しめる3時間ほどの短距離コースや電動アシスト自転車を使ったプランを整備も必要です。

#### 3.高額消費層向けサービスの提供

高額消費層向けに、専属ガイド付きのプライベートツアーや地元の高級食材を楽しむ食事付きツアーなどを展開します。高級宿泊施設やラグジュアリー体験、鹿児島ならではの文化体験とセットにするプレミアムツアーを提供します。また、外国人旅行者が満足できるような高性能なロードバイクやマウンテンバイクを用意し、スポーツサイクリストにも対応します。

#### 4.多言語対応アプリとガイドツールの開発

サイクリングアプリ: 多言語対応のナビゲーション機能を持つアプリを開発し、ルート情報や観光地情報を提供します。オフラインでも使えるようにすることで利便性を向上させます。音声ガイド: 観光地の説明やルート案内を多言語で提供する音声ガイド機能を導入し、現地での理解を深めます。

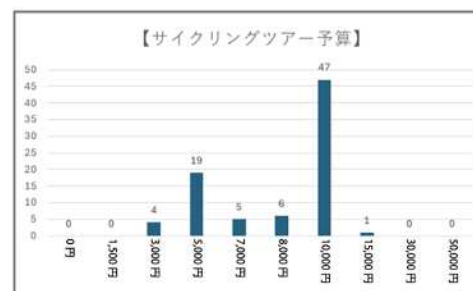
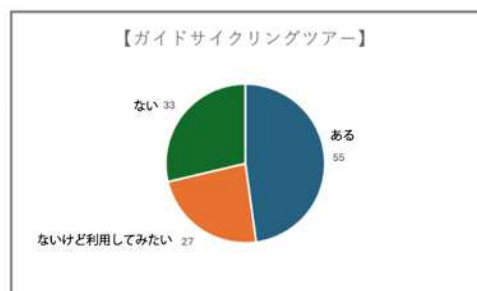
#### 5.視覚的プロモーションの展開

SNSや動画配信: 鹿児島のサイクリングの魅力を映像や写真で発信します。特に、観光地を巡るサイクリングの様子や旅行者の感想を具体的に伝えることで興味を引きつけます。インフルエンサーの活用: 海外のサイクリング愛好者や旅行インフルエンサーを招待し、鹿児島の魅力を発信してもらいます。

#### 6.サイクリング文化の啓発と体験イベントの実施

初心者向けサイクリング体験会: 初心者でも参加できる体験型イベントを実施し、サイクリングを身近なアクティビティとして広めます。観光地限定のサイクリングツアー: 鹿児島の特定地域をフィーチャーした特別なサイクリングイベントを開催し、その地域への集客を図ります。

| 【ガイドサイクリングツアー】 |             |     |
|----------------|-------------|-----|
| 1              | ある          | 55  |
| 2              | ないが、参加してみたい | 27  |
| 3              | ないし興味もない    | 33  |
|                |             | 115 |
| 【サイクリングツアー予算】  |             |     |
| 1              | 0円          | 0   |
| 2              | 1,500円      | 0   |
| 3              | 3,000円      | 4   |
| 4              | 5,000円      | 19  |
| 5              | 7,000円      | 5   |
| 6              | 8,000円      | 6   |
| 7              | 10,000円     | 47  |
| 8              | 15,000円     | 1   |
| 9              | 30,000円     | 0   |
| 10             | 50,000円以上   | 0   |
|                |             | 82  |



## 【結果から見えてきた課題】

### 1.外国人旅行者の参加経験の偏り

ガイド付きサイクリングツアーに「参加したことがある」と答えた外国人旅行者が55人いる一方で、「参加してみたい」という層は27人と潜在的な需要がある一方、参加未経験の層が33人いることから、具体的なツアー内容や魅力が十分に伝わっていないことが課題です。

### 2.価格帯のニーズが明確化

外国人旅行者の約85%が「10,000円以下」の価格帯を希望しており、特に「5,000円」や「10,000円」の予算を設定している層が多いことがわかります。一方で、15,000円以上の高価格帯を支払う意思のある層はごく少数であるため、価格に見合った価値をどのように提供するかが重要です。

### 3.ツアー内容と付加価値

多くの外国人旅行者は、ガイド付きツアーに「5,000～10,000円」を支払う意思を持っていますが、その金額に見合った特別な体験やサービスが不足している可能性があります。特に鹿児島特有の魅力を活かしたツアー内容が十分に訴求されていないことが課題です。

### 4.多言語対応と利便性の課題

ガイド付きツアーの案内やガイドそのものの多言語対応が不十分で、外国人旅行者が参加しづらい状況にあると推測されます。特に予約プロセスや当日のサポート体制における言語対応の遅れが障壁となっています。

### 5.初心者層やライトユーザーへの対応

「参加してみたい」と答えた層に対して、初心者や観光目的の旅行者でも気軽に参加できるツアー内容や価格設定が不足しているため、具体的な参加行動に結びついていない可能性があります。

**【展望】****1.価格帯に合わせた多様なツアー設計**

- ・低価格帯ツアー（5,000円以下）：初心者向けの3時間ほどの短時間・短距離グループツアーを設定。
- ・中価格帯ツアー（5,000～10,000円）：3時間～1日の観光体験を含むツアーを提供します。地元ガイドによる歴史・文化解説を組み込むことで付加価値を高めます。
- ・プレミアムツアー（10,000円以上）：上級者向けに、鹿児島特有の地形を活かした長距離ツアーや、温泉や高級食事を組み合わせた特別な体験型ツアーを提供します。

**2.多言語対応の強化**

- ・ツアーガイドが英語、中国語、韓国語などに対応できる体制を整えます。また、ツアー資料や地図、アプリケーションも多言語対応にします。
- ・外国人旅行者が簡単に参加できるように、オンラインでの事前予約システムを多言語対応で構築します。

**3.鹿児島特有の魅力を活かしたツアーの開発**

- ・自然資源を活かす: 桜島、屋久島、霧島連山など、鹿児島独特の地形や景観を巡るツアーを開発します。
- ・地元文化との融合: 地元の食文化や伝統工芸、温泉体験を取り入れたツアーで、他地域との差別化を図ります。

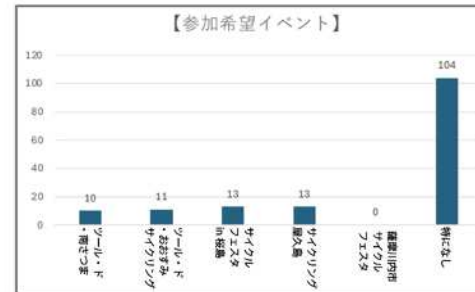
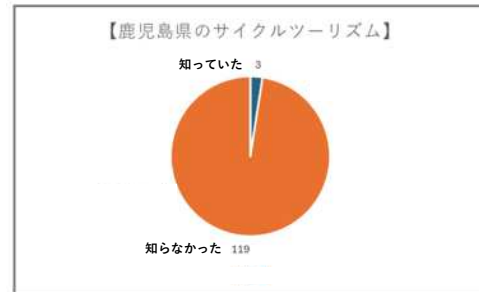
**4.初心者層への訴求**

- ・初心者や観光客が参加しやすい「電動アシスト自転車を活用したツアー」や「1～2時間の短時間コース」などの、気軽に楽しめるツアーを提供します。
- ・サイクリングの基礎を学べるワークショップや体験イベントをツアー前に開催し、サイクリング未経験者の参加意欲を高め、取り込みます。

**5.プロモーションの強化**

- ・過去に参加した旅行者のレビューや写真・動画をSNSや観光プラットフォームで発信し、体験を視覚的に発信します。特に鹿児島の壮大な自然や文化体験を訴求します。
- ・実際の参加者の口コミやレビューを活用し、信頼感と魅力を高めます。

| 【鹿児島県のサイクルツーリズム】 |                     |     |
|------------------|---------------------|-----|
| 1                | 知っていた               | 3   |
| 2                | 知らなかった              | 119 |
|                  |                     |     |
| 【参加希望イベント】       |                     |     |
| 1                | ツール・ド・南さつま          | 10  |
| 2                | ツール・ド・おおすみサイクリング    | 11  |
| 3                | サイクルフェスタin桜島        | 13  |
| 4                | サイクリング屋久島&屋久島ヒルクライム | 13  |
| 5                | 薩摩川内市サイクルフェスタ       | 0   |
| 6                | 特になし                | 104 |



## 【結果から見えてきた課題】

### 1.情報発信

鹿児島県のサイクルツーリズムの取り組みを「知っていた」と答えた外国人旅行者はわずか3人であり、情報が十分に届けられていない現状があります。特に、鹿児島がサイクリング目的地として認識されておらず、旅行計画に組み込まれていない点が課題です。

### 2.イベントを旅行に組み込むハードルの高さ

外国人旅行者にとって、サイクリングイベントを旅行プランに組み込むことが難しいと考えられます。その要因には以下が挙げられます：

- ・ イベントの情報が事前に旅行者に伝わっていないと、スケジュールを合わせる事が難しい。
- ・ イベント参加の予約や事前準備（装備、費用など）が煩雑である。

### 3.初心者や観光目的旅行者への取り組み

サイクリングイベントが愛好者向けに偏りがちで、初心者や観光目的の旅行者が参加しにくい内容になっている可能性があります。ライトユーザーが楽しめる要素（短時間での観光、簡単なルート設計）が欠けている可能性があります。

### 4.旅行者の柔軟なニーズへの対応

観光客は、旅行中に気軽に参加できるアクティビティを求める傾向があり、イベントとの組み合わせが難しい。

**【展望】****1. イベント参加のハードルを下げる仕組み**

- ・ イベント参加の予約をオンラインで簡単に行える仕組みを整備し、英語や中国語などの多言語対応を充実させます。
- ・ 装備や自転車をすべてレンタルで提供する「手ぶらで参加できるツアー」を展開します。

**2. 初心者や観光目的旅行者向けプログラムの開発**

- ・ 観光地巡りの短距離ツアー初心者やライトユーザーでも気軽に参加できる、観光地を巡る短時間・短距離のツアーを提供します。  
例「桜島半周コース」「屋久島エコライド」。
- ・ 体験型イベントの導入地元の食や文化を体験できるプログラムを組み込んだサイクリングイベントを企画し、サイクリング初心者でも興味を持ちやすい内容にします。

**3. イベント参加のメリットを明確化**

- ・ イベント参加者だけが体験できる特別なルートや、地元ガイドによる秘話紹介、参加者限定の特典（地元特産品の試食やお土産）を提供します。
- ・ イベント参加者に、地元観光施設の割引クーポンや、次のイベントで使える優待特典を提供することで、付加価値を高めます。

**4. プロモーション活動の強化**

- ・ 旅行者の視点に立った情報発信
- ・ サイクリングイベントの楽しさや簡単さを強調したビジュアルコンテンツを作成し、SNSや観光プラットフォームで広く発信します。
- ・ イベントに参加した旅行者の体験談やレビューを活用し、サイクリングイベントが旅行計画に組み込みやすいことを伝えます。

**【海外拠点型の取り込み案】****・ 新幹線×サイクリングの組み合わせ**

九州新幹線を活用し、サイクリングと温泉、食文化、歴史探索などを組み合わせた「サイクリング+鉄道旅行」のツアーパッケージを提供します。

**・ 高額消費層向けプレミアムツアー**

50,000円以上の支出を厭わない高額消費層向けに、専属ガイド付きのプレミアムサイクリングツアーを提供します。高級宿泊施設での滞在や、地元の高級食材を使った食事、文化体験を組み合わせることで、特別な価値を提供します。また、プロ仕様のロードバイクや電動アシスト自転車の貸し出しを充実させ、快適な環境を整備します。

**・ 海外向けプロモーションの強化**

SNSやYouTubeを活用し、鹿児島島のサイクリングの魅力を映像や写真で発信します。特に、観光地を巡るサイクリングの様子や旅行者の感想を具体的に伝えることで、関心を引きます。また、海外の旅行博や観光イベントに出展し、鹿児島島のサイクリング観光をアピールします。特に、欧米やアジア圏での認知度向上を目指し、現地の旅行代理店と連携してツアー商品を販売することも検討します。

海外周遊型

回答数：62

## 1. 調査概要

海外周遊型サイクリングとは、訪日した自転車愛好家（サイクリスト）が1日に80～100km程度を走行し、広範囲の地域を巡る観光スタイル。中には宿泊を伴う長距離サイクリングを楽しむ層も含まれる。本調査は、鹿児島県における海外周遊型サイクルツーリズムの現状を把握し、インバウンド需要を取り込むための改善策を検討することを目的に実施。対象は訪日外国人サイクリストで、利用状況、消費動向、宿泊実態、観光資源との連携などを分析した。

### 調査結果の概要

- ・回答者62名のうち、鹿児島県でのサイクリング経験者は4名のみで極めて少ない。
- ・消費額の分布に大きな差があり、5,000円程度の層から5万円以上の高額消費層まで幅広い。
- ・鹿児島での宿泊型サイクリングプランが不足。
- ・自転車を持ち込むサイクリストが圧倒的に多く、レンタサイクルの利用率が低い。

## 2. 主な課題と対策案

### (1) 鹿児島の認知度不足

課題：海外のサイクリストにとって鹿児島はサイクリング目的地として認識されておらず、情報発信が不足。

対策：海外向けのSNS・動画・観光プラットフォームを活用し、鹿児島のサイクリングルートの魅力を発信。

### (2) 高額消費層への対応不足

課題：高額消費層が一定数いるにもかかわらず、高品質なサービスやプレミアムツアーが整備されていない。

対策：専属ガイド付きのプレミアムツアーや、高級宿泊施設と組み合わせたサイクリングパッケージを造成。

### (3) 宿泊型サイクリングの未発達

課題：長距離の周遊型サイクリストの多くが4泊以上の長期滞在をしているが、鹿児島での宿泊利用が進んでいない。

対策：宿泊を含むサイクリングプランを整備。

### (4) 自転車持ち込み層へのサポート不足

課題：持ち込み派のサイクリストに対する専用設備（メンテナンスエリアなど）が不足。

対策：宿泊施設や観光地にサイクリスト向け設備を整備し、空港や主要駅での自転車輸送サービスを拡充。

## 3. 今後の展開

### (1) 鹿児島をサイクリング目的地として確立

- ・英語・中国語・フランス語などの多言語対応サイトを整備し、鹿児島のサイクリングルートを紹介し、インフルエンサーや海外メディアと連携し、鹿児島のサイクリング体験を海外市場に向けて発信。

### (2) 高額消費層向けのプレミアムサービス提供

- ・高級宿泊施設と連携し、特別体験を組み込んだラグジュアリーサイクリングツアーを開発。
- ・高品質なロードバイク・マウンテンバイクのレンタルサービスを提供し、ハイエンドユーザーの需要に対応。

### (3) 宿泊型サイクリングの推進

- ・鹿児島全域を巡るサイクリングと宿泊を組み合わせたツアーパッケージを造成。
- ・サイクリスト向け宿泊特典（メンテナンスサービス、早朝食提供、荷物配送サービスなど）を導入。

### (4) 自転車持ち込み層への対応強化

- ・主要宿泊施設や観光地にメンテナンススペースを設置し、長距離サイクリストが快適に滞在できる環境を整備。
- ・空港や主要駅で自転車輸送サービスを導入し、アクセスの利便性を向上。

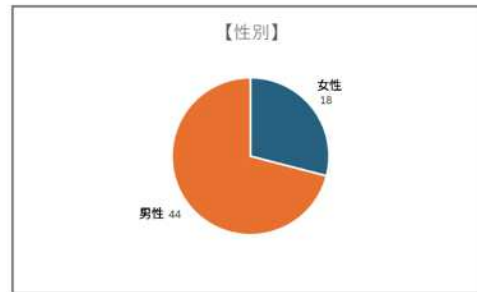
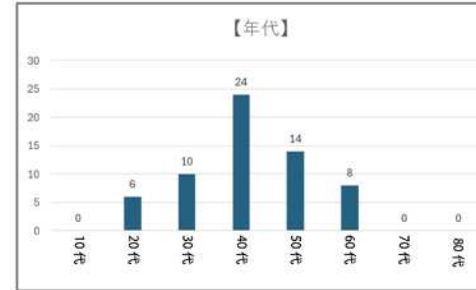
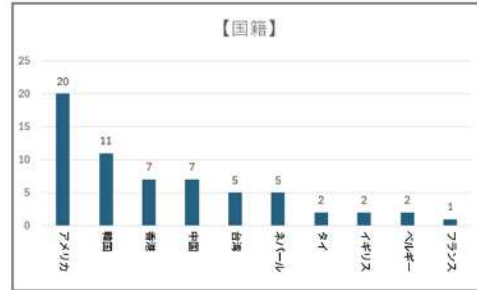
### (5) 観光資源とサイクリングの融合

- ・「桜島・霧島・屋久島」などの自然景観を活かしたサイクリングツアーを開発。
- ・地元の食文化や伝統工芸体験を組み合わせたテーマツアーを造成し、他地域との差別化を図る。

海外周遊型サイクルツーリズムの発展には、鹿児島の認知度向上、高額消費層向けサービスの展開、宿泊型プランの強化、自転車持ち込み層への対応、観光資源との連携が不可欠。鹿児島の自然・文化・食を活かしたサイクリング体験を提供し、国際的なサイクリストに選ばれる観光地を目指す。

## 【海外周遊型】 基本情報

| 【国籍】 |      |    |
|------|------|----|
| 1    | アメリカ | 20 |
| 2    | 韓国   | 11 |
| 3    | 香港   | 7  |
| 4    | 中国   | 7  |
| 5    | 台湾   | 5  |
| 6    | ネパール | 5  |
| 7    | タイ   | 2  |
| 8    | イギリス | 2  |
| 9    | ベルギー | 2  |
| 10   | フランス | 1  |
|      |      | 62 |
| 【年代】 |      |    |
| 1    | 10代  | 0  |
| 2    | 20代  | 6  |
| 3    | 30代  | 10 |
| 4    | 40代  | 24 |
| 5    | 50代  | 14 |
| 6    | 60代  | 8  |
| 7    | 70代  | 0  |
| 8    | 80代  | 0  |
|      |      | 62 |
| 【性別】 |      |    |
| 1    | 女性   | 18 |
| 2    | 男性   | 44 |
|      |      | 62 |



### 【海外周遊型の説明】

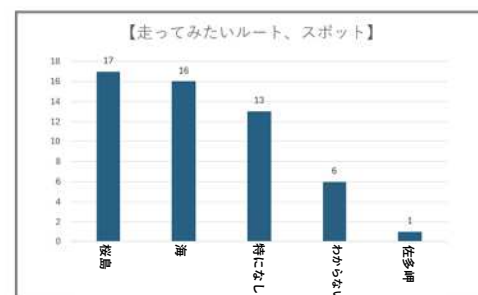
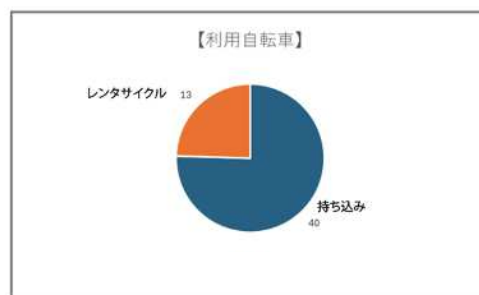
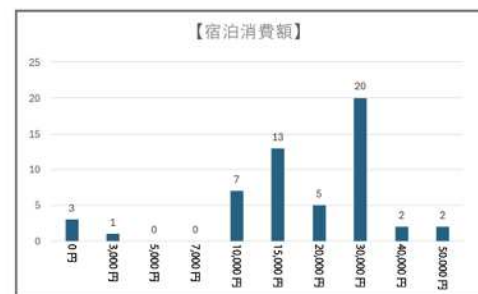
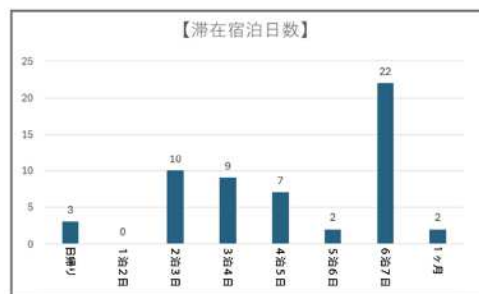
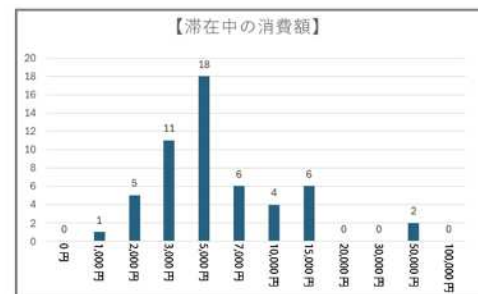
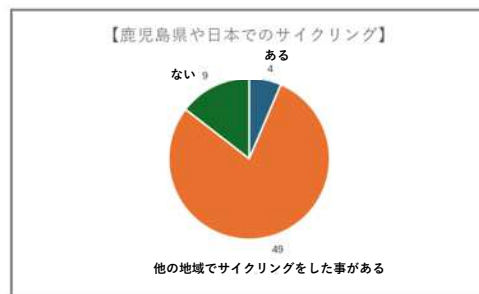
インバウンド周遊型サイクリング観光とは、訪日した自転車愛好家（サイクリスト）が1日に80km～100km程度を走行し、広範囲の地域を巡る観光スタイルを指します。一部のサイクリストは、数日にわたる宿泊を伴う長距離のサイクリングも行います。このセグメントの調査では、以下のポイントを中心に探ります。

- ・サイクリストの鹿児島県の位置付け
- ・ガイド付きサイクリングツアーのニーズ
- ・サイクリング環境の評価
- ・周遊ルートの魅力と課題
- ・ターゲット層の特性
- ・地域資源との連携

### 【アンケート収集方法】

1. Bike is Lifeの顧客へのアンケート
2. 海外サイクリストへのアンケート

| 【鹿児島県や日本でのサイクリング】 |                    |    |
|-------------------|--------------------|----|
| 1                 | ある                 | 4  |
| 2                 | 他の地域でサイクリングをした事がある | 49 |
| 3                 | ない                 | 9  |
|                   |                    | 62 |
| 【サイクリング中の消費額】     |                    |    |
| 1                 | 0円（日帰り）            | 0  |
| 2                 | 1,000円             | 1  |
| 3                 | 2,000円             | 5  |
| 4                 | 3,000円             | 11 |
| 5                 | 5,000円             | 18 |
| 6                 | 7,000円             | 6  |
| 7                 | 10,000円            | 4  |
| 8                 | 15,000円            | 6  |
| 9                 | 20,000円            | 0  |
| 10                | 30,000円            | 0  |
|                   | 50,000円            | 2  |
| 11                | 100,000円           | 0  |
|                   |                    | 53 |
| 【滞在宿泊日数】          |                    |    |
| 1                 | 日帰り                | 3  |
| 2                 | 1泊2日               | 0  |
| 3                 | 2泊3日               | 10 |
| 4                 | 3泊4日               | 9  |
| 5                 | 4泊5日               | 7  |
| 6                 | 5泊6日               | 2  |
| 7                 | 6泊7日               | 22 |
| 8                 | 1ヶ月                | 2  |
|                   |                    | 53 |
| 【宿泊消費額】           |                    |    |
| 1                 | 0円（日帰り）            | 3  |
| 2                 | 3,000円             | 1  |
| 3                 | 5,000円             | 0  |
| 4                 | 7,000円             | 0  |
| 5                 | 10,000円            | 7  |
| 6                 | 15,000円            | 13 |
| 7                 | 20,000円            | 5  |
| 8                 | 30,000円            | 20 |
| 9                 | 40,000円            | 2  |
| 10                | 50,000円以上          | 2  |
|                   |                    | 53 |
| 【利用自転車】           |                    |    |
| 1                 | 持ち込み               | 40 |
| 2                 | レンタサイクル            | 13 |
|                   |                    | 53 |
| 【走ってみたいルート、スポット】  |                    |    |
| 1                 | 桜島                 | 17 |
| 2                 | 海                  | 16 |
| 3                 | 特になし               | 13 |
| 4                 | わからない              | 6  |
| 5                 | 佐多岬                | 1  |
|                   |                    | 53 |



## 【結果から見えてきた課題】

### 1.鹿児島県でのサイクリング経験が極めて少ない

鹿児島県内でサイクリングをした外国人サイクリストは4人にとどまり、日本の他地域での経験者（49人）と比べても著しく少ない状況です。鹿児島がサイクリング目的地として認識されていないことが課題です。

### 2.消費額のギャップ

外国人サイクリストの消費額では「5,000円」や「7,000円」が多く、日本人サイクリストの「3,000～5,000円」に近い層も見られますが、「50,000円」といった高額消費層も存在します。一方、鹿児島では高額消費層をターゲットにした特別なサービスやプレミアムツアーが整備されていないため、経済効果が十分に引き出せていない可能性があります。

### 3.宿泊需要の未活用

外国人サイクリストの多くが「6泊7日」や「4泊5日」といった中～長期の宿泊をしています。鹿児島での宿泊型サイクリングプランが少ないため、長期滞在者を誘致できていません。

### 4.自転車持ち込み層へのサービス

利用自転車のデータでは「持ち込み」が40人と圧倒的で、レンタサイクル利用者（13人）を大きく上回っています。これにより、自転車持ち込み層に対応した施設（バイクラック、メンテナンスステーション）や物流サービスが不足していることが課題です。

### 5.観光資源とサイクリングの結びつき

鹿児島特有の観光資源（桜島、屋久島、霧島など）を活用したサイクリングルートが十分に知られておらず、観光とサイクリングを一体化させた戦略が不十分です。

#### 【展望】

#### 1.鹿児島をサイクリング目的地として認知させる取り組み

- ・英語、中国語、フランス語などで鹿児島のサイクリングルートや観光資源を発信し、視覚的に訴求するSNSキャンペーンや動画広告を展開します。
- ・鹿児島県のサイクリングマップや宿泊プラン、イベント情報を集約したサイクリング特化の専用ウェブサイトを多言語で展開します。

#### 2.高額消費層向けサービスの充実

- ・高額消費層をターゲットにした専属ガイド付きツアーや、地元食材を使ったグルメツアー、温泉宿泊を組み合わせた体験型プランを提供します。
- ・ロードバイクやマウンテンバイク、電動アシスト自転車など高品質なレンタサイクルを導入し、外国人旅行者に選ばれる環境を整備します。

#### 3.宿泊型プランの開発

- ・滞在に対応した広域サイクリングプランを開発し、鹿児島全体を巡るルートを提案します。
- ・地元の温泉地や食文化を体験できる宿泊型プランを提供し、滞在期間中の消費額を増加させます。

#### 4.自転車持ち込み層への対応

- ・宿泊施設や観光地にバイクラックやメンテナンスステーションを設置し、自転車持ち込み旅行者が快適に利用できる環境を整えます。
- ・空港や主要駅から宿泊施設までの自転車輸送サービスを展開し、移動の負担を軽減します。

#### 5.観光資源との連携強化

- ・鹿児島の自然や文化を活かしたテーマ別ルートを設計します。例:「桜島一周ライド」「屋久島エコサイクリング」「霧島温泉グルメライド」。
- ・地域ごとの祭りや文化イベントと連携し、サイクリングと観光イベントをセットで楽しめるプランを提案します。

## 【日本人サイクリストとの比較から見えるポイント】

### 1.消費額の傾向

外国人サイクリストの消費額には「50,000円」の高額層が含まれる一方、日本人サイクリストは「3,000～5,000円」の低額層が中心です。これは外国人旅行者向けに高価格帯サービスを提供する余地があることを示唆しています。

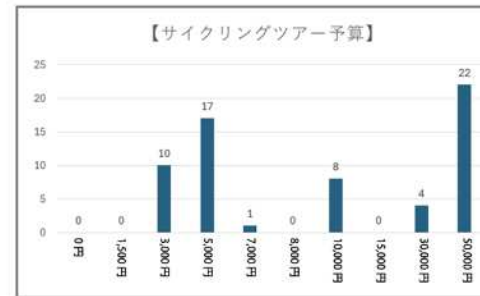
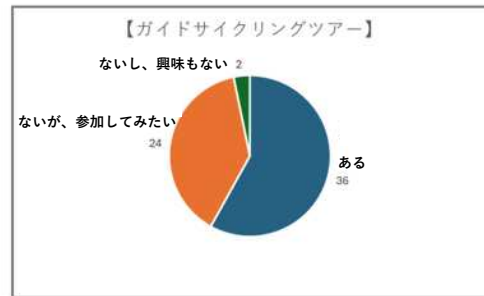
### 2.滞在期間の違い

日本人旅行者は日帰りや1泊2日が多いのに対し、外国人旅行者は中～長期滞在（6泊7日など）が目立ちます。長期滞在者向けのプランが鹿児島島の観光収益を高める鍵となります。

### 3.レンタサイクルの利用率

外国人旅行者ではレンタサイクル利用者が一定数存在する（13人）が、日本人ではほとんど利用されていません。このため、外国人旅行者向けのレンタサイクルサービスを充実させる必要があります。

| 【ガイドサイクリングツアー】 |             |    |
|----------------|-------------|----|
| 1              | ある          | 36 |
| 2              | ないが、参加してみたい | 24 |
| 3              | ないし興味もない    | 2  |
|                |             | 62 |
| 【サイクリングツアー予算】  |             |    |
| 1              | 0円          | 0  |
| 2              | 1,500円      | 0  |
| 3              | 3,000円      | 10 |
| 4              | 5,000円      | 17 |
| 5              | 7,000円      | 1  |
| 6              | 8,000円      | 0  |
| 7              | 10,000円     | 8  |
| 8              | 15,000円     | 0  |
| 9              | 30,000円     | 4  |
| 10             | 50,000円以上   | 22 |
|                |             | 62 |



### 【結果から見てきた課題】

#### 1. ガイド付きツアーへの認知と利用率の偏り

外国人サイクリストの中で、ガイド付きツアーやガイド帯同を依頼した経験が「ある」36人、「ないけど依頼したい」24人と潜在的需要はありますが、全体から見るとまだ十分な利用率には達していません。特に鹿児島県における具体的なツアー情報や認知度の不足が課題です。

#### 2. 価格帯のニーズの多様性

回答者の中で特に目立つのは「50,000円以上」の高価格帯に支払意思がある22人の存在です。一方で、「3,000円～5,000円」を希望する層も27人と多く、価格帯のニーズが二極化しています。このギャップに対応できる幅広い価格設定のツアーが不足しています。

#### 3. ツアー内容の付加価値

50,000円以上の高額を支払う意欲を持つ旅行者が多い一方で、その価格帯に見合う特別感やプレミアム体験を提供するツアーが整備されていない可能性があります。また、低価格帯を希望する層に向けても、手軽で魅力的なプランが十分に用意されていないことが課題です。

#### 4. 多言語対応

ガイドやツアー説明資料の多言語対応が不十分で、外国人旅行者が安心して参加できる環境が整っていないと推測されます。特に、オンライン予約やリアルタイムでのサポートの欠如が障壁となっています。

#### 5. 初心者やライトユーザー向けの対応

長距離や本格的なサイクリングを目的としたツアーが主流であり、サイクリング初心者や観光目的のライトユーザーが気軽に参加できるような内容が不足しています。

**【展望】****1. 幅広い価格帯に対応するツアーの設計**

- 低価格帯ツアー（～10,000円）  
初心者や観光目的の旅行者向けに、半日や短時間で楽しめるツアーを開発します。例: 鹿児島市内観光＋サイクリング、桜島一周ライトツアー。
- 中価格帯ツアー（10,000～30,000円）  
地元文化や食を取り入れた体験型ツアーや、地形を活かした中距離コースを提案します。例: 屋久島サイクリング＋地元ガイドによる自然解説。
- 高価格帯ツアー（30,000円以上）  
高額消費層向けに、専属ガイドや特別ルート、高級宿泊施設やグルメ体験を組み込んだプレミアムツアーを提供します。

**2. 多言語対応の強化**

- ガイドと案内資料の多言語化  
ツアーの説明資料やルート案内を英語、中国語、韓国語などで作成し、予約や参加時に言語の壁を感じさせない環境を整備します。
- オンライン予約とサポートの充実  
外国人旅行者が簡単に予約できる多言語対応のオンラインプラットフォームを構築し、チャットやメールでのリアルタイムサポートを提供します。

**3. 初心者・ライトユーザー向けツアーの導入**

- 短時間・初心者向けプラン  
サイクリング初心者でも安心して参加できる、1～2時間程度の短距離ルートを整備します。
- 観光体験型ツアー  
地元の文化体験やグルメツアーを組み合わせたサイクリングプランを提供し、サイクリングを中心としない旅行者にも訴求します。

**4. プレミアムツアーの強化**

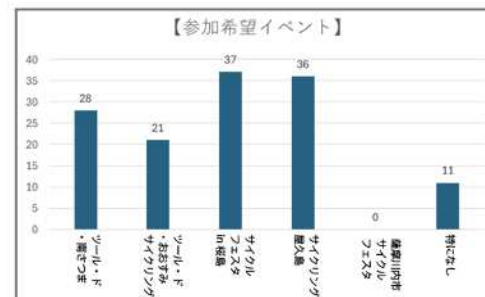
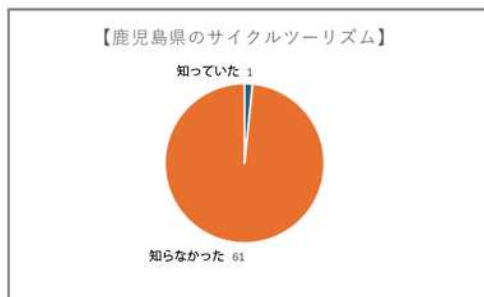
- 特別な体験の提供  
例えば、火山地形を巡るルートや、地元の特産品をテーマにした食事付きツアーを開発します。
- プロ仕様のサービス  
スポーツサイクリスト向けに、高性能自転車のレンタル、プロガイドの同行、テクニカルサポートを提供します。

**5. 鹿児島特有の魅力を活かしたツアー設計**

- 地域資源との連携  
桜島、屋久島、霧島など、鹿児島独自の自然や文化を取り入れたツアーを開発し、他地域との差別化を図ります。
- 観光地とのコラボレーション  
温泉や地元の祭りなどの観光イベントと連携し、ツアーの特別感を高めます。

## 【海外周遊型】鹿児島県の取り組みについて

| 【鹿児島県のサイクルツーリズム】 |                     |    |
|------------------|---------------------|----|
| 1                | 知っていた               | 1  |
| 2                | 知らなかった              | 61 |
|                  |                     |    |
| 【参加希望イベント】       |                     |    |
| 1                | ツール・ド・南さつま          | 28 |
| 2                | ツール・ド・おおすみサイクリング    | 21 |
| 3                | サイクルフェスタin桜島        | 37 |
| 4                | サイクリング屋久島&屋久島ヒルクライム | 36 |
| 5                | 薩摩川内市サイクルフェスタ       | 0  |
| 6                | 特になし                | 11 |



### 【結果から見えてきた課題】

#### 1. 鹿児島県のサイクルツーリズムの認知度

鹿児島県のサイクルツーリズムの取り組みを「知っていた」と答えたインバウンドサイクリストはわずか1人で、大多数（61人）が「知らなかった」と回答しています。これは、情報発信がターゲットであるインバウンドサイクリストに届いておらず、鹿児島がサイクリング目的地として認識されていないことを示しています。

#### 2. イベントへの関心のばらつき

イベントへの興味に関しては、「サイクルフェスタin桜島」37人、「サイクリング屋久島」36人が比較的多い一方で、「ツール・ド・南さつま」28人、「ツール・ド・おおすみ」21人と低めの興味にとどまっています。「特になし」が11人いる点からも、イベント自体に関心を持たない層が一定数存在します。

#### 3. 観光資源との結びつき

鹿児島県の特有の観光資源（桜島や屋久島）が認知されているイベントはあるものの、地域ごとに一貫したサイクリングの魅力が伝わっておらず、他の地域との差別化が不十分です。

#### 4. サイクリング以外の旅行目的への訴求

サイクリングイベントがサイクリスト層に特化しているため、観光目的の旅行者が参加しにくい内容となっており、初心者やライトユーザーが楽しめる企画が不足しています。

#### 5. 多言語対応とアクセス性

イベントや取り組みに関する情報が多言語で発信されていないことや、イベント参加に必要な手続きや準備が複雑である点が、旅行者の参加意欲を削いでいる可能性があります。

**【展望】****1. 情報発信の強化**

- ・英語、中国語、フランス語、韓国語などの主要言語で、鹿児島県のサイクリングイベントや観光地の魅力を広めるオンラインプロモーションを展開します。特に、InstagramやYouTubeなどのビジュアル重視のプラットフォームを活用し、視覚的に訴求します。
- ・海外のサイクリストコミュニティやサイクリング関連イベントで鹿児島をプロモーションすることで、興味を持つ層に直接アプローチします。

**2. イベント内容の多様化**

- ・短距離や初心者向けのライトなイベントを増やし、観光地巡りや地元体験を組み込んだ新しいコンセプトのイベントを企画します。例:「桜島観光＋地元グルメツアー」「屋久島エコライド」。
- ・サイクリングと地元観光資源を組み合わせた、複数日間の滞在型イベントを企画します。参加者が宿泊や地元体験を通じて地域経済に貢献できる仕組みを構築します。

**3. 観光資源との連携強化**

- ・桜島、屋久島、霧島温泉など、鹿児島の自然や文化をテーマにしたイベントやサイクリングルートを設計します。これにより、特定の地域ごとの魅力をより明確に伝えられます。
- ・温泉、地元グルメ、文化体験などを組み合わせ、サイクリングが「鹿児島ならではの特別な体験」となるようなイベント内容を開発します。

**4. 参加のハードルを下げる取り組み**

- ・多言語対応のオンライン予約プラットフォームを整備し、参加者が簡単にイベントに申し込める環境を整えます。
- ・レンタサイクルの充実や装備品の提供など、旅行者が特別な準備をしなくても参加できる仕組みを構築します。

**5. プロモーションの効果測定と改善**

- ・実際に参加した外国人サイクリストのレビューや体験談を発信し、興味喚起につなげます。
- ・イベントやプロモーションの効果を定期的に測定し、改善を繰り返して訴求力を高めます。

**【海外拠点型の取り組み案】****・高品質なレンタサイクルの導入**

外国人サイクリストから選ばれるために、ロードバイクやマウンテンバイクなど、スポーツ性の高いレンタサイクルを導入し、レンタルの利用者数を向上させます。また、予約から支払いまでをオンラインで完結できるシステムを導入し、利便性を高めます。

**・自転車の持ち込み旅行者への対応強化**

宿泊施設や観光地にバイクラックやメンテナンスステーションを設置し、海外サイクリストが快適に利用できる環境を整えます。また、空港や主要駅から宿泊施設までの自転車運送サービスを展開し、サイクリストの負担を軽減します。

**・多言語強化のサポートツアーの提供**

ガイドやサポートカーの派遣などのプレミアムサービスを整備し、さまざまなニーズに対応できるツアーの開発を行います。

## 海外レンタサイクル

回答数：201

## 1. 調査概要

海外レンタサイクルとは、訪日外国人観光客が鹿児島県内でレンタサイクルを利用し、観光地を巡るスタイル。本調査は、インバウンド向けのレンタサイクル利用状況を把握し、観光振興および利用促進のための課題と対策を検討することを目的に実施。対象は訪日外国人で、レンタサイクルの利用実態、認知度、利便性、言語対応の状況、観光資源との連携などを分析した。

### 調査結果の概要

- ・回答者122名のうち、鹿児島県でレンタサイクルを利用したことがあるのは16名（約13%）。
- ・レンタサイクルの認知度が低く、「利用を検討したことがない」層が多数。
- ・レンタル時の言語対応が不十分で、予約や利用方法の説明が難しい。
- ・主要な観光地や駅・空港での貸出・返却拠点が少なく、利便性が低い。

## 2. 主な課題と対策案

### (1) 認知度の低さ

課題：鹿児島県内のレンタサイクルの存在が訪日外国人観光客に十分に知られていない。

対策：海外向けのSNS・観光サイト・旅行代理店と連携し、レンタサイクルの情報を発信

### (2) 多言語対応の不足

課題：レンタル時の手続きや利用方法の案内が英語・中国語・韓国語などに対応しておらず、外国人観光客が利用しにくい。

対策：多言語対応のレンタサイクル予約サイトや、案内マニュアル（紙・デジタル）の整備。

### (3) 主要拠点での貸出・返却の利便性不足

課題：駅・空港・主要観光地でのレンタル拠点が少なく、移動の選択肢として認識されにくい。

対策：主要駅や観光地での貸出・返却を可能にする「ワンウェイレンタルシステム」を導入。

### (4) 高品質なレンタサイクルの不足

課題：スポーツタイプの自転車や電動アシスト自転車の選択肢が少なく、長距離や観光目的のニーズに対応できていない。

対策：E-bikeや高品質なロードバイク・マウンテンバイクの導入。

## 3. 今後の展開

### (1) レンタサイクルの認知度向上と利用促進

・SNS・観光ポータルサイト・海外旅行メディアと連携し、レンタサイクルの魅力を発信。

### (2) 多言語対応の充実

・予約サイトや案内パンフレットを英語・中国語・韓国語などに対応させ、利用者の利便性を向上させ、多言語対応のカスタマーサポートを導入し、レンタル時のトラブル対応をスムーズにする。

### (3) レンタル拠点の拡充とワンウェイレンタルの導入

・主要観光地・駅・空港にレンタル拠点を設置し、借りた場所とは異なる拠点で返却可能にするワンウェイレンタルを導入。

### (4) 高品質レンタサイクルの導入とサービス向上

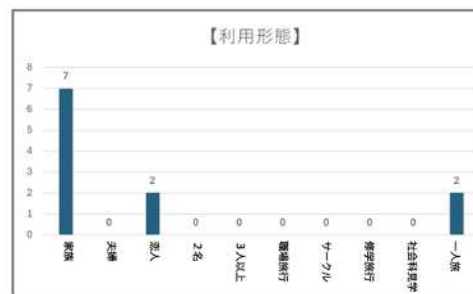
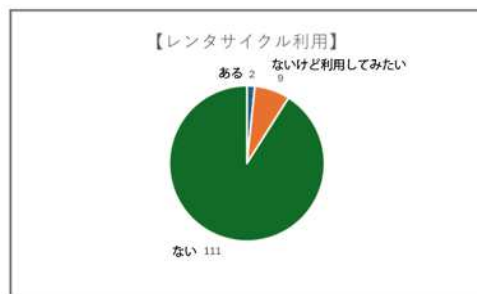
・E-bikeや高性能なロードバイクを導入し、長距離サイクリングのニーズに対応。

### (5) 観光ルートとレンタサイクルの連携強化

・観光施設や飲食店と連携し、レンタサイクル利用者向けの特典や割引を導入。

海外レンタサイクルの利用促進には、認知度向上、多言語対応の充実、レンタル拠点の拡充、高品質レンタサイクルの導入、観光ルートとの連携が不可欠。訪日外国人が快適にレンタサイクルを活用できる環境を整え、鹿児島の観光資源を最大限に活かす施策が求められる。

| 【レンタサイクル利用】 |             |     |
|-------------|-------------|-----|
| 1           | ある          | 2   |
| 2           | ないけど利用してみたい | 9   |
| 3           | ない          | 111 |
|             |             | 122 |
| 【利用形態】      |             |     |
| 1           | 家族          | 7   |
| 2           | 夫婦          | 0   |
| 3           | 恋人          | 2   |
| 4           | 友達と2名       | 0   |
| 5           | 友達と3名以上     | 0   |
| 6           | 職場旅行        | 0   |
| 7           | 趣味、サークルの仲間と | 0   |
| 8           | 修学旅行        | 0   |
| 9           | 社会科見学       | 0   |
| 10          | 一人旅         | 2   |
|             |             | 11  |



## 【結果から見えてきた課題】

### 1.利用率の低さ

鹿児島県内でレンタサイクルを利用したことがある外国人旅行者はわずか2人、利用を検討している層も9人にとどまり、ほとんどの旅行者（111人）が利用していません。これにより、レンタサイクルが外国人旅行者にとって「利用したい選択肢」として認識されていない現状が明らかです。

### 2.ハードルの存在

レンタサイクルの利用には、以下のようなハードルが存在すると考えられます。

- ・情報不足: レンタサイクルの場所や手続き、料金体系に関する情報が十分に提供されていない。
- ・多言語対応の欠如: 外国語での案内や予約システムが不十分で、利用方法が分かりにくい。
- ・品質の信頼感: 提供される自転車の性能や整備状況への不安。

### 3.利用者のニーズへの対応

利用希望者の回答から「家族」（7人）や「恋人」（2人）といった少数の層に偏っており、友人グループや団体利用の需要が見られないことが課題です。団体向けのプランやサービスが不足している可能性があります。

### 4.個人旅行者へのアプローチ

利用者や利用希望者の中には「1人旅」が2人含まれていますが、個人で手軽に利用できるサービスや観光ルートが整備されていないため、1人で利用するモチベーションを高める仕組みが不足していると考えられます。

### 5.観光資源との結びつき

外国人旅行者にとって、レンタサイクルを利用する具体的な目的や楽しみ方が明確に示されておらず、観光資源との結びつきが弱いことが課題です。

**【展望】****1.利用率向上に向けた施策**

- ・多言語での案内、予約、利用手続きが可能なシステムを導入します。具体的には、オンライン予約プラットフォームや現地でのQRコード対応システムを活用し、英語、中国語、韓国語などで詳細な情報を提供します。
- ・観光地や主要交通機関、宿泊施設でレンタサイクルの存在を積極的にアピールします。ポスターやパンフレットを配置し、レンタサイクルを利用するメリット（手軽さ、アクセスの良さ）を強調します。

**2.家族や個人旅行者への特化型サービス**

- ・子ども用自転車や電動アシスト自転車を用意し、家族で利用しやすい仕組みを整えます。安全性を重視した短距離ルートや観光地を巡るコースを提案します。
- ・1人でも気軽に楽しめる短距離・短時間のルートや、電動アシスト自転車を活用した観光コースを整備します。個人旅行者向けに特化したマップやアプリを提供します。

**3.観光資源との連携強化**

- ・鹿児島県の観光資源（桜島、屋久島、温泉地など）と連携したテーマ型サイクリングルートを設定します。たとえば、「桜島一周コース」や「温泉巡りライド」など、具体的なルートを提案します。
- ・レンタサイクル利用者限定で、観光地での割引や特別な体験（地元のグルメ試食、文化体験など）を提供するプランを展開します。

**4.品質向上と信頼感の醸成**

- ・スポーツサイクリスト向けのロードバイクや初心者向けの電動アシスト自転車を提供し、旅行者が安心して利用できる体制を整えます。定期的なメンテナンス情報も公開し、信頼感を高めます。
- ・実際にレンタサイクルを利用した旅行者の体験談やレビューをSNSやウェブサイトで発信し、「楽しい」「便利」といったポジティブなイメージを広めます。

**5.団体利用の促進**

- ・友人やグループで利用できるレンタサイクルプランを導入します。複数人での利用が楽しくなるような特典（グループ割引、特別ルート案内など）を提供します。

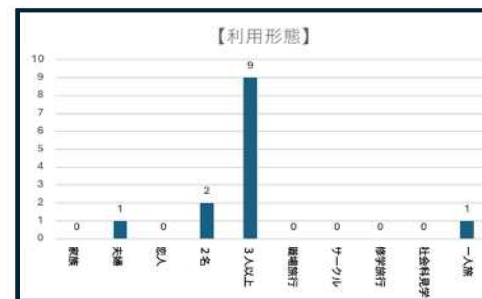
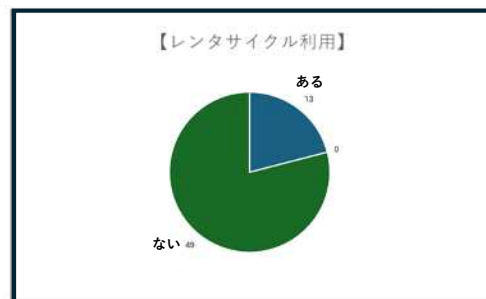
**【海外拠点型レンタサイクルの推進案】****・多言語化の強化と情報発信**

レンタサイクルの利用を促進するため、多言語対応のオンライン予約システムを導入し、外国人旅行者が事前にスムーズに予約できる環境を整えます。また、空港、主要駅、ホテル、観光案内所にレンタサイクルの案内ポスターやパンフレットを配置し、「手軽さ」「観光スポットへのアクセスの良さ」を強調したプロモーションを実施します。

**・レンタサイクルの利用者特典**

レンタサイクルを利用することで、観光地での割引や特別な体験を提供する「サイクルパス」を導入し、利用者にメリットを感じてもらえる仕組みを構築します。例えば、「レンタサイクル利用者限定の地元グルメ試食」「温泉入浴割引」「伝統工芸体験無料」などの特典を提供することで、レンタサイクルの利用価値を高めます。

| 【レンタサイクル利用】 |             |    |
|-------------|-------------|----|
| 1           | ある          | 13 |
| 2           | ないけど利用してみたい | 0  |
| 3           | ない          | 49 |
|             |             | 62 |
| 【利用形態】      |             |    |
| 1           | 家族          | 0  |
| 2           | 夫婦          | 1  |
| 3           | 恋人          | 0  |
| 4           | 友達と2名       | 2  |
| 5           | 友達と3名以上     | 9  |
| 6           | 職場旅行        | 0  |
| 7           | 趣味、サークルの仲間と | 0  |
| 8           | 修学旅行        | 0  |
| 9           | 社会科見学       | 0  |
| 10          | 一人旅         | 1  |
|             |             | 13 |



## 【結果から見えてきた課題】

### 1. レンタサイクルの利用率の低さ

鹿児島県内でレンタサイクルを利用した外国人旅行者は13人とどまり、「利用したい」と回答した層が存在しない点が特徴的です。これは、レンタサイクル自体が認知されて いない、もしくは利用する必要性やメリットを感じていないことが背景にあると考えられます。

### 2. 利用におけるハードル

- ・情報不足: レンタサイクルの利用場所、料金、種類に関する情報が十分に提供されていない可能性があります。
- ・多言語対応の不足: 外国人旅行者向けの多言語案内や、オンライン予約システムの整備が不十分である可能性があります。
- ・利便性の問題: 借りやすさや返却の柔軟性が欠けている、利用できる拠点が少ないといった問題が考えられます。

### 3. 利用シーンの偏り

利用者の多くが「友達と3人以上」（9人）での利用を選んでおり、家族や恋人、1人旅での利用がほとんど見られません。この偏りは、特定の利用層や利用目的にしか訴求できていないことを示しています。

### 4. 観光資源との結びつきの弱さ

レンタサイクルが鹿児島特有の観光資源（桜島、屋久島、温泉地など）と十分に連携していないため、観光の選択肢として選ばれにくい状況です。

### 5. サービスの品質不足

外国人旅行者のニーズに応える高品質な自転車や、初心者向けの電動アシスト自転車、ヘルメットなどの付属品の提供が不足している可能性があります。

**【展望】****1. レンタサイクルの認知向上と利用促進**

- ・ レンタサイクルの利用方法、料金、拠点に関する情報を英語、中国語、韓国語などで提供し、公式ウェブサイトや観光案内所、SNSを通じて発信します。
- ・ 外国人旅行者が簡単にレンタサイクルを予約できる多言語対応のオンラインシステムを構築します。

**2. 利用シーンを広げるためのサービス設計**

- ・ 子ども用自転車やタンデムバイクの導入、家族連れでも楽しめる短距離ルートを提案します。
- ・ 1人でも楽しめる手軽な観光地巡りプランや電動アシスト自転車を活用した初心者向けツアーを提供します。

**3. 観光資源との連携強化**

- ・ 桜島や屋久島、霧島温泉郷など、鹿児島県の主要観光地を巡る専用ルートを整備し、観光地と連携したサイクリングプランを提供します。
- ・ 主要観光施設でのレンタサイクル貸出・返却サービスを導入し、利便性を向上させます。

**4. 品質向上による満足度向上**

- ・ スポーツタイプの自転車や電動アシスト自転車を導入し、初心者から上級者まで幅広いニーズに応えます。
- ・ ヘルメットや地図、ツールキットなど、旅行者が安全で快適に楽しめるための付属品を無料または低価格で提供します。

**5. プロモーションと体験発信**

- ・ レンタサイクル利用中の旅行者の楽しそうな様子をSNSや観光サイトで発信し、利用イメージを具体化します。
- ・ 実際にレンタサイクルを利用した旅行者のレビューや体験談を共有し、信頼感を醸成します。

**【海外周遊型レンタサイクルの推進案】****・ 多言語化の強化と海外のサイクリングコミュニティとの連携した情報発信**

海外のサイクリストにレンタサイクルの存在を知ってもらうため、多言語に対応した専用ウェブサイトを構築し、欧米やアジアのサイクリングクラブ、グループなどに対し、鹿児島のレンタサイクル情報を発信します。特に、ロードバイク愛好者が多いヨーロッパや北米市場に向けた情報提供を強化し、レンタサイクルを利用したモデルコースを紹介することで、関心を引きます。

**・ サイクリスト向け高品質レンタサイクルの導入**

ロードバイクやグラベルバイク、Eバイク（電動アシスト付きロードバイク）など、海外のサイクリストのニーズに応える高品質な自転車を導入します。特に、カーボンフレームや油圧ディスクブレーキ搭載の高性能モデルを取り揃え、プロ仕様のサイクリング体験ができる環境を整備します。また、持ち込みのペダル、サドル、ボトルケージなどをレンタルバイクに装着可能にするサービスを提供します。

## 鹿児島県内の自転車利用状況

回答数：64

## 1. 調査概要

本調査は、鹿児島県内におけるサイクルツーリズムの現状を把握し、観光振興策の改善に活用することを目的に実施。対象は鹿児島県民で、サイクリングの利用実態、目的、消費傾向、宿泊状況、課題などを分析した。

### 調査結果の概要

- ・回答者332名のうち、鹿児島県内でサイクリングを経験したことがあるのは79名（約24%）。
- ・県内のサイクリングは「日帰り利用」が中心で、宿泊を伴う利用は約15%。
- ・消費額は「5,000円未満」が最も多く、観光消費への影響は限定的。
- ・レンタサイクルの利用率は低く、多くが自転車を持ち込み。
- ・サイクリングの目的は「自然景観を楽しむ」が最多で、「歴史・文化体験」との組み合わせは少数。

## 2. 主な課題と対策案

### (1) サイクルツーリズムの認知度不足

課題：鹿児島県民がサイクリングをアクティビティと捉えておらず、情報発信が不足。  
対策：SNS・観光ポータルサイト・旅行代理店を活用し、鹿児島のサイクルツーリズムの魅力を発信。

### (2) 日帰り利用の多さ

課題：サイクリング利用者の85%が日帰りで、宿泊を伴う観光が少ない。  
対策：「サイクリング+温泉」など、宿泊を絡めたプランを開発し、滞在時間を延長。

### (3) 経済波及効果の低さ

課題：サイクリング中の消費額が5,000円未満にとどまり、地元経済への影響が限定的。  
対策：地元飲食店・観光施設と連携し、立ち寄りスポットを増やす。

### (4) レンタサイクルの利便性の低さ

課題：主要駅・空港・観光地での貸出・返却拠点が少なく、観光客の利用が進んでいない。  
対策：レンタル拠点を拡充。

### (5) サイクリングルートと観光資源の連携不足

課題：「自然景観を楽しむ」目的が多い一方で、「歴史・文化体験」との組み合わせが少なく、観光資源との連携が不十分。  
対策：「サイクリング+歴史」「サイクリング+文化体験」など、地域資源を活用したルートを開発。

## 3. 今後の展開

### (1) サイクルツーリズムの認知度向上

- ・SNS・動画コンテンツ・旅行サイトを活用し、県内に鹿児島のサイクリングの魅力を発信。

### (2) 宿泊型サイクリング観光の推進

- ・県民向けの「サイクリング+温泉」「サイクリング+グルメ」などのテーマ別宿泊プランを造成。

### (3) サイクリング中の経済波及効果の向上

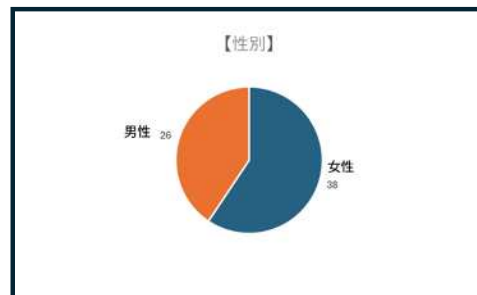
- ・「サイクルスタンプラリー」や「サイクリングパス」の導入により、特典を提供。

### (4) サイクリングルートと観光資源の融合

- ・「桜島サイクリング+温泉」「霧島サイクリング+神話探訪」「指宿サイクリング+砂むし温泉」など、観光資源と組み合わせたルートを開発。
- ・地元の歴史や文化体験を取り入れ、観光の魅力を向上。鹿児島県内のサイクリング利用促進には、認知度向上、宿泊型の推進、経済波及効果の向上、レンタサイクルの利便性強化、県内資源との連携が不可欠。鹿児島県民がサイクリングを通じて鹿児島の自然・文化・食をより深く楽しめる施策が求められる。

## 【鹿児島県内の自転車利用状況】 基本情報

| 【年代】 |     |    |
|------|-----|----|
| 1    | 10代 | 18 |
| 2    | 20代 | 21 |
| 3    | 30代 | 10 |
| 4    | 40代 | 8  |
| 5    | 50代 | 7  |
| 6    | 60代 | 0  |
| 7    | 70代 | 0  |
| 8    | 80代 | 0  |
|      |     | 64 |
| 【性別】 |     |    |
| 1    | 女性  | 38 |
| 2    | 男性  | 26 |
|      |     | 64 |



### ※調査対象者について

国内拠点型の対象者の中から鹿児島在住者を抽出し、検証

### 【海外拠点周遊型の説明】

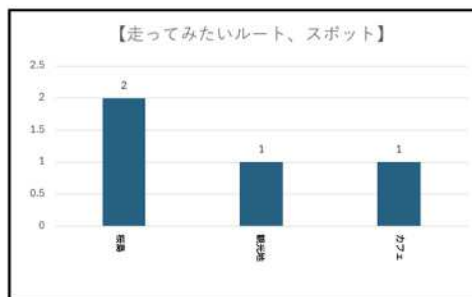
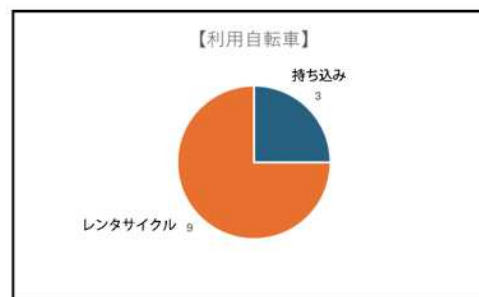
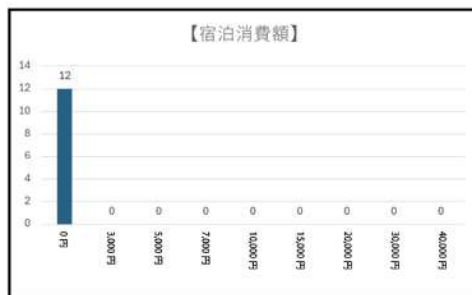
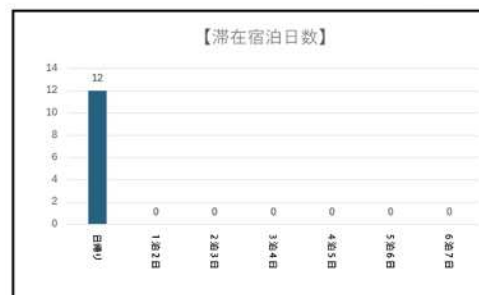
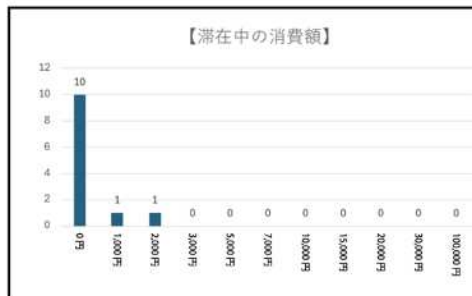
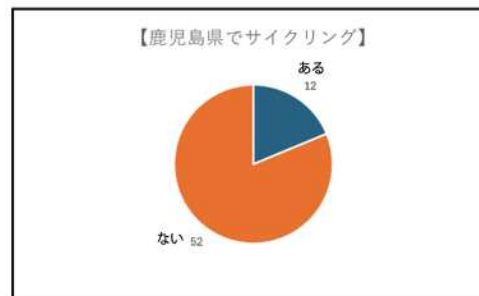
鹿児島県民を対象に、自転車の利用実績やサイクリングに対する関心を把握し、県民のサイクリングに対する意識、レンタサイクルやガイド付きサイクリングツアーのニーズがあるかなど、県内での拠点型サイクリング観光の可能性を探ることを目的としています。このセグメントでは、以下の点に焦点を当てます。

- ・県民のサイクリングの利用状況
- ・レンタサイクルの利用意向
- ・ガイド付きサイクリングツアーへの関心
- ・周遊ルートの魅力と課題
- ・ターゲット層の特性

### 【アンケート収集方法】

- 1.鹿児島中央駅、鹿児島空港でのアンケート
- 2.鹿児島在住者へのアンケート

| 鹿児島県サイクルツーリズムについて |               |    |
|-------------------|---------------|----|
| 【鹿児島県でサイクリング】     |               |    |
| 1                 | ある            | 12 |
| 2                 | ない            | 52 |
|                   |               | 64 |
| 【滞在中の消費額】         |               |    |
| 1                 | 0円（日帰り、地元）    | 10 |
| 2                 | 1,000円        | 1  |
| 3                 | 2,000円        | 1  |
| 4                 | 3,000円        | 0  |
| 5                 | 5,000円        | 0  |
| 6                 | 7,000円        | 0  |
| 7                 | 10,000円       | 0  |
| 8                 | 15,000円       | 0  |
| 9                 | 20,000円       | 0  |
| 10                | 30,000円       | 0  |
| 11                | 100,000円      | 0  |
|                   |               | 12 |
| 【滞在宿泊日数】          |               |    |
| 1                 | 日帰り、地元        | 12 |
| 2                 | 1泊2日          | 0  |
| 3                 | 2泊3日          | 0  |
| 4                 | 3泊4日          | 0  |
| 5                 | 4泊5日          | 0  |
| 6                 | 5泊6日          | 0  |
| 7                 | 6泊7日          | 0  |
|                   |               | 12 |
| 【宿泊消費額】           |               |    |
| 1                 | 0円（日帰り、地元、実家） | 12 |
| 2                 | 3,000円        | 0  |
| 3                 | 5,000円        | 0  |
| 4                 | 7,000円        | 0  |
| 5                 | 10,000円       | 0  |
| 6                 | 15,000円       | 0  |
| 7                 | 20,000円       | 0  |
| 8                 | 30,000円       | 0  |
| 9                 | 40,000円       | 0  |
|                   |               | 12 |
| 【利用自転車】           |               |    |
| 1                 | 持ち込み          | 3  |
| 2                 | レンタサイクル       | 9  |
|                   |               | 12 |
| 【走ってみたいルート、スポット】  |               |    |
| 1                 | 桜島            | 2  |
| 2                 | 観光地           | 1  |
| 3                 | カフェ           | 1  |
|                   |               | 3  |



## 【結果から見えてきた課題】

### 1. サイクリング経験者が少ない

鹿児島県内でサイクリングをしたことがある人は12人と少数で、サイクリングを実際に楽しんでいる県民が限られていることが分かります。これは、サイクリングが身近なアクティビティとして認知されていない可能性を示しています。

### 2. 消費額が極めて低い

サイクリング中の消費額が「0円」の人が10人を占め、その他も1,000円や2,000円と極めて低い水準です。サイクリングが経済効果を生み出す観光アクティビティとして活用されていないことが課題です。

### 3.宿泊を伴うサイクリングが皆無

全ての回答者が日帰り利用であり、宿泊を伴うサイクリング旅行が実施されていません。地域経済への波及効果が限定的であることが浮き彫りになっています。

### 4.走ってみたいスポットの魅力

回答の多くが「桜島」などの有名スポットに集中し、その他の地域や観光地の魅力がサイクリストに伝わっていないことが分かります。

### 5.レンタサイクル利用者が多い一方で普及率が限定的

レンタサイクルの利用者は9人と持ち込みより多い一方、サイクリングそのものの利用者数が少ないため、普及が限定的であることが課題です。

### 【展望】

#### 1.サイクリングの普及促進

- ・サイクリングが健康や娯楽として楽しめることを訴求するキャンペーンを展開します。地域の魅力を発見できる「初心者向けサイクリングデー」を企画し、体験の機会を提供します。
- ・学校の体育活動や地域イベントでサイクリングを取り入れ、地元住民が気軽に参加できる環境を整備します。

#### 2.消費額を増加させる施策

- ・サイクリング中に立ち寄りたくなるカフェや飲食店、観光地と提携し、特典や割引を提供します。例えば、「サイクリスト割引」や「スタンプラリー形式の観光促進」が有効です。
- ・サイクリングルート上で地元の特産品を販売する仕組みを構築し、消費行動を促します。

#### 3.宿泊型サイクリングの導入

- ・宿泊とサイクリングを組み合わせたプランを提供し、地元温泉や観光資源を楽しむ「滞在型サイクリングツアー」を企画します。
- ・鹿児島県の広域を巡る長距離サイクリングルートを整備し、宿泊を伴う旅行を促進します。

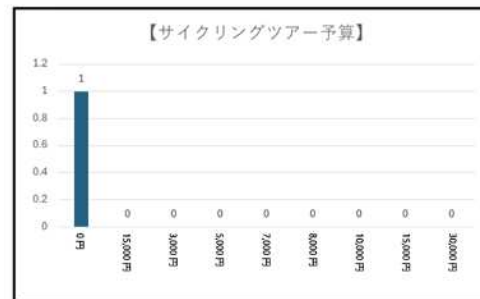
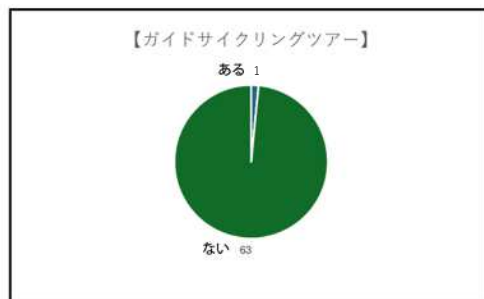
#### 4.観光地の魅力向上

- ・桜島以外のスポットや地域の魅力を掘り起こし、サイクリングルートに組み込むことで多様性を広げます。
- ・歴史的建造物や文化体験を含む観光地巡りのサイクリングルートを提案し、旅行者に新しい体験を提供します。

#### 5.レンタサイクルの普及と利便性向上

- ・駅や観光地にレンタサイクル拠点を増設し、誰でも気軽に利用できる環境を整えます。
- ・初心者から上級者まで対応できる自転車（電動アシストバイク含む）を導入し、幅広い層に対応します。

| 鹿児島県サイクリングツアーについて |             |    |
|-------------------|-------------|----|
| 【ガイドサイクリングツアー】    |             |    |
| 1                 | ある          | 1  |
| 2                 | ないが、参加してみたい | 0  |
| 3                 | ないし興味もない    | 63 |
|                   |             | 64 |
| 【サイクリングツアー予算】     |             |    |
| 1                 | 0円          | 1  |
| 2                 | 1,500円      | 0  |
| 3                 | 3,000円      | 0  |
| 4                 | 5,000円      | 0  |
| 5                 | 7,000円      | 0  |
| 6                 | 8,000円      | 0  |
| 7                 | 10,000円     | 0  |
| 8                 | 15,000円     | 0  |
| 9                 | 30,000円     | 0  |
|                   |             | 1  |



## 【結果から見えてきた課題】

### 1. ガイド付きサイクリングツアーの認知度と利用経験の極端な少なさ

鹿児島県民でガイド付きサイクリングツアーに参加した経験があるのは1人のみであり、参加経験のほとんどない状況が浮き彫りになっています。これはツアーの認知度が低いことや、そもそもガイド付きツアーの必要性を感じていない可能性を示唆しています。

### 2. 支払意思額の極端な低さ

予算についての回答が「0円」に集中しており、ガイド付きサイクリングツアーに対して費用を支払う意欲がほとんど見られません。これは、ガイド付きツアーの価値が理解されていないか、ツアー自体に魅力を感じていない可能性があります。

### 3. サイクリング自体の文化的認識の低さ

ガイド付きツアーが普及していない背景には、鹿児島県民がサイクリングを観光や特別な体験として認識していないことがあると考えられます。サイクリングが日常的・健康目的で行われる一方、観光体験としての位置づけが弱い点が課題です。

### 4. 初心者やライトユーザーへの訴求不足

ガイド付きツアーは初心者や観光目的の人にとって魅力的なはずですが、鹿児島県内ではそのような層に対するプロモーションが不足しているため、ツアーの利用につながっていないと考えられます。

**【展望】****1. ガイド付きツアーの認知度向上**

- ・ガイド付きツアーの楽しさやメリット（地元ガイドによる安全なルート案内、地域の文化や歴史を学べる特別な体験）をPRします。SNSや地元メディアを活用し、視覚的に訴求するプロモーションを展開します。
- ・初心者が参加しやすい短時間の体験型ガイドツアー（例: 1～2時間で地域の名所を巡るツアー）を定期的 to 実施し、ツアーの魅力を伝えます。

**2. 支払意思額を高める施策**

- ・初心者向けに「3,000～5,000円」の価格帯で手軽に参加できるツアーを提供し、ガイド付きツアーの価値を体感してもらいます。
- ・地元特産品の試食やお土産付き、温泉入浴券とのセットプランなど、参加費に見合う特典を用意します。

**3. 初心者層や観光目的ユーザーへの訴求**

- ・簡単なコースや短距離で参加できるプランを提供し、「ガイド付きで安心してサイクリングを楽しめる」体験を提供します。
- ・桜島、屋久島、霧島などの観光地を巡るツアーを企画し、観光目的の県民にも訴求します。

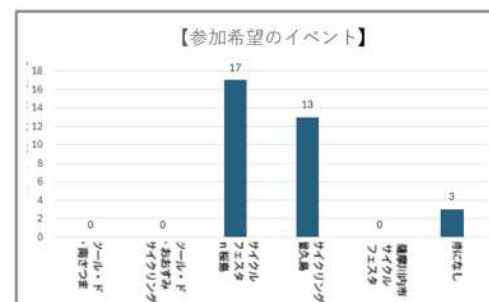
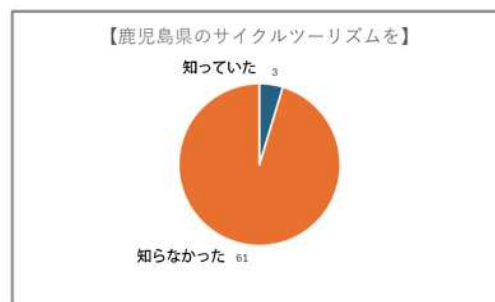
**4. 地元特化型のガイド付きツアーの展開**

- ・火山地形や温泉地、地元の特産品をテーマにしたツアーを企画し、他の地域との差別化を図ります。
- ・地元ガイドを育成し、地域の歴史や文化を伝える取り組みを強化することで、観光資源と地域経済の活性化を目指します。

**5. 参加のハードルを下げる環境整備**

- ・電動アシスト自転車や初心者向けレンタサイクルを提供し、誰でも参加しやすい環境を整備します。
- ・オンライン予約システムや、当日参加可能な柔軟な受付体制を整えることで、参加意欲を高めます。

| 鹿児島県の取り組み        |                     |    |
|------------------|---------------------|----|
| 【鹿児島県のサイクルツーリズム】 |                     |    |
| 1                | 知っていた               | 3  |
| 2                | 知らなかった              | 61 |
|                  |                     |    |
| 【参加希望イベント】       |                     |    |
| 1                | ツール・ド・南さつま          | 0  |
| 2                | ツール・ド・おおすみサイクリング    | 0  |
| 3                | サイクルフェスタin桜島        | 17 |
| 4                | サイクリング屋久島&屋久島ヒルクライム | 13 |
| 5                | 薩摩川内市サイクルフェスタ       | 0  |
| 6                | 特になし                | 3  |



## 【結果から見てきた課題】

### 1. 鹿児島県のサイクルツーリズムの認知度不足

「鹿児島県のサイクルツーリズムの取り組みを知っていた」と答えたのはわずか3人であり、大多数の61人が「知らなかった」と回答しています。これは、情報発信が十分でなく、県内外の住民や旅行者に取り組みの魅力が伝わっていないことを示しています。

### 2. イベントへの関心の偏り

イベントへの興味は「サイクルフェスタin桜島」17人、「サイクリング屋久島」13人と比較的多い一方で、「ツール・ド・南さつま」「ツール・ド・おおすみ」には全く関心が寄せられていません。この結果から、イベント自体の知名度や魅力の不足がうかがえます。

### 3. 「特になし」と答えた層の存在

3人が「特になし」と回答しており、サイクリングイベント自体に興味を持たない層が一定数存在します。これは、サイクリングが身近なアクティビティとして認識されていない可能性を示しています。

### 4. 地域間での認知度と魅力の格差

桜島や屋久島のような有名観光地には関心が集まる一方で、南さつまや大隅半島など他地域のイベントや観光資源の認知度が低く、地域間での格差が目立ちます。

### 5. ターゲット層の限定的な取り込み

現在のイベントはサイクリング愛好者向けに特化しており、観光目的や初心者層には十分に訴求できていない可能性があります。

**【展望】****1. 情報発信の強化と多言語対応**

- ・地域やイベントの詳細を視覚的に訴求するSNSや動画広告を活用し、国内外に向けて広く発信します。特に、多言語対応を強化し、外国人旅行者にも認知される情報発信を行います。
- ・観光地との連携PR  
桜島や屋久島といった観光資源とイベントを結びつけた情報を発信し、観光とサイクリングの一体感を高めます。

**2. イベントの魅力向上と多様化**

- ・初心者や観光目的の参加者でも気軽に楽しめる短時間・短距離のイベントを企画します。例:「桜島周辺観光サイクリング」や「屋久島自然体験ライド」。
- ・地元の文化や特産品を取り入れたツアーや、地元のガイドが案内する秘境巡りなど、特別感のあるイベントを増やします。

**3. ターゲット層の拡大**

- ・家族連れや初心者層にも参加しやすいイベントを提供し、幅広い層を取り込む施策を展開します。
- ・学校の遠足や地域のスポーツイベントでサイクリングを取り入れ、子どもや地域住民への普及を促進します。

**4. 地域間格差の是正**

- ・地元特産品や歴史文化をテーマにしたイベントを開催し、これらの地域の独自性をPRします。例:「大隅半島滝巡りライド」「南さつま絶景グルメサイクリング」。
- ・桜島や屋久島だけでなく、県全体を巡るサイクリングルートを整備し、各地域の魅力をつなげる取り組みを進めます。

**5. イベント参加のハードルを下げる仕組み**

- ・レンタサイクルや装備のレンタルを充実させ、初心者や旅行者でも手軽に参加できる環境を整備します。
- ・オンライン予約や多言語対応のツアー案内を導入し、参加の手続きを簡略化します。

**【鹿児島県内の自転車への関心を高める推進案】**

- ・初心者向け体験イベントの開催  
サイクリングを気軽に楽しめる「初心者向けサイクリングデー」を定期開催や、学校の体育の授業や課外活動で「サイクリング教育プログラム」を導入し、自転車の楽しさを子どもたちに伝えます。また、企業向けに「健康促進サイクリングデー」を設定し、社員が通勤や休日にサイクリングを楽しめる環境を整え、まずは自転車に乗る機会を作ります。

## 鹿児島県内のレンタサイクル

回答数：64

## 1. 調査概要

本調査は、鹿児島県内のレンタサイクルの利用状況を把握し、観光振興や利用促進のための課題と対策を検討することを目的に実施。対象は鹿児島県民で、レンタサイクルの認知度、利用実態、利便性、観光資源との連携、今後の利用意向などを分析した。

調査結果の概要

- ・回答者332名のうち、鹿児島県内のレンタサイクルを利用したことがあるのは21名（約6%）。
- ・「レンタサイクルの存在を知らなかった」との回答が58%を占め、認知度が低い。
- ・主要駅・観光地での貸出・返却拠点が少なく、利便性が低いとの指摘が多数。
- ・レンタル可能な自転車の種類が限られており、スポーツバイクや電動アシスト自転車の選択肢が不足。
- ・観光目的での利用よりも「移動手段」としての利用が多い。

## 2. 主な課題と対策案

(1) 認知度の低さ

課題：レンタサイクルの存在や利用方法が十分に認知されていない。

対策：SNS・県民向け情報市での情報発信を強化し、利用を促進。

(2) 利便性の低さとレンタル拠点の不足

課題：主要な観光地や駅での貸出が少なく、利用しづらい。

対策：レンタサイクル拠点を増設。

(3) レンタサイクルの車種不足

課題：現在のレンタサイクルはシティサイクルが中心で、スポーツバイクや電動アシスト自転車の選択肢が少ない。

対策：スポーツE-bikeやロードバイク・マウンテンバイクを導入し、多様なニーズに対応。

(4) 観光資源との連携不足

課題：レンタサイクルを使ったルート情報が少なく、余暇の楽しみ方との結びつきが弱い。

対策：「レンタサイクル＋観光」「レンタサイクル＋グルメ」などのモデルルートを作成し、観光客向けに提案。

## 3. 今後の展開

(1) レンタサイクルの認知度向上と利用促進

- ・情報発信を強化し、県民への周知を拡大。

(2) レンタル拠点の拡充と利便性向上

- ・レンタサイクル拠点を設置し、貸出・返却の利便性を向上。

(3) レンタサイクルの種類を充実

- ・電動アシスト自転車（E-bike）やスポーツバイクを導入し、上級者から初心者でも楽しめる環境を整備。
- ・家族連れ向けの子ども用自転車やタンデムバイク（2人乗り）を導入し、多様なニーズに対応。

(4) 観光資源とレンタサイクルの連携強化

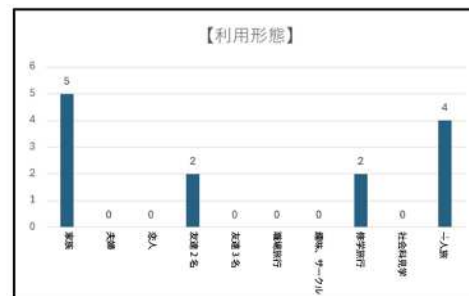
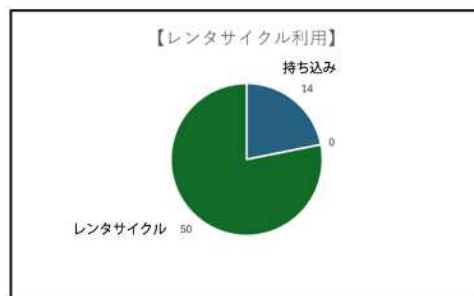
- ・地元飲食店や観光施設と提携し、レンタサイクル利用者向けの特典や割引を導入。

(5) プロモーション活動の強化

- ・SNSやYouTubeで、レンタサイクルを活用した観光の楽しさを発信。
- ・実際の利用者の口コミや体験談を活用し、リアルな魅力を伝える。

鹿児島県内のレンタサイクル利用促進には、認知度向上、レンタル拠点の拡充、車種の多様化、プロモーション強化が不可欠。鹿児島県民が気軽にレンタサイクルを利用できる環境を整え、鹿児島の資源をより魅力的に活用する施策が求められる。

| 鹿児島県レンタサイクルについて |             |    |
|-----------------|-------------|----|
| 【レンタサイクル利用】     |             |    |
| 1               | ある          | 14 |
| 2               | ないけど利用してみたい | 0  |
| 3               | ない          | 50 |
|                 |             | 64 |
| 【利用形態】          |             |    |
| 1               | 家族          | 5  |
| 2               | 夫婦          | 0  |
| 3               | 恋人          | 0  |
| 4               | 友達と2名       | 2  |
| 5               | 友達と3名以上     | 0  |
| 6               | 職場旅行        | 0  |
| 7               | 趣味、サークルの仲間と | 0  |
| 8               | 修学旅行        | 2  |
| 9               | 社会科見学       | 0  |
| 10              | 一人旅         | 4  |
|                 |             | 13 |



### ※調査対象者について

国内拠点型の対象者の中から鹿児島在住者を抽出し、検証

### 【結果から見てきた課題】

#### 1. 利用者層の限定性

レンタサイクル利用者は「家族」や「修学旅行」など特定のグループに集中し、「夫婦」や「恋人」、「友達と3人以上」での利用がほとんど見られません。利用シーンが限られており、幅広い層への訴求が十分ではないと考えられます。

#### 2. 個人利用者への対応不足

「一人旅」での利用が4人と一定数存在していますが、個人利用者が楽しめる仕組みやサービス（おすすめのソロルート案内、個人向け割引）が不足している可能性があります。

#### 3. 観光資源との連携不足

吹上浜など特定のエリアでは利用が見られるものの、他の地域でのレンタサイクル利用が活発ではありません。鹿児島全体での観光資源とレンタサイクルの連携が不十分と考えられます。

#### 4. 認知度や利便性の課題

利用経験が「ある」と答えた人が14人とどまり、「ない」と答えた人が50人と多い点から、レンタサイクルの存在や利用メリットが県民に十分に認知されていない可能性があります。また、拠点数や利便性の低さも利用促進の妨げになっていると考えられます。

## 【展望】

### 1. 幅広い層への訴求

- ・グループ利用促進: 夫婦や恋人、友人同士で利用したくなるようなプランを提供します。例えば、ペア割引やカフェ巡り、記念撮影がセットになったツアーなどを企画します。
- ・家族向けプランの拡充: 子ども用自転車や親子で参加できるサイクリングルートを整備し、家族での利用を促進します。

### 2. 個人利用者向けサービスの充実

- ・ソロルートの提案: 1人でも気軽に利用できる短距離の観光ルートを案内し、ソロサイクリスト向けのマップやアプリを提供します。
- ・初心者向けサポート: サイクリング初心者が安心して利用できるよう、出発前のレクチャーや電動アシストバイクの導入を進めます。

### 3. 観光資源との連携強化

- ・地域ごとの特色を活かしたレンタル拠点: 吹上浜以外にも桜島、霧島、指宿など、地域の観光資源と結びつけたレンタル拠点を整備します。
- ・サイクリング＋観光のパッケージ化: レンタサイクル利用者に地元の観光施設や飲食店の割引券を提供し、地域全体での消費を促進します。

### 4. 認知度と利便性の向上

- ・広報活動の強化: 地元メディアや学校、自治体イベントを通じてレンタサイクルの存在と魅力をPRします。
- ・予約システムと多言語対応の導入: 便利に利用できるオンライン予約システムを構築し、観光客にも分かりやすいサービスを提供します。

### 5. 学校行事の活用

- ・教育との連携: 修学旅行や社会科見学での利用をさらに拡大し、地元の歴史や文化を学びながら楽しめるプランを提案します。
- ・地元スポットの周知: 吹上浜以外のエリアでも学校行事で利用されるよう、観光地や自然スポットを巡るルートを企画します。

## 【鹿児島県民のレンタサイクル利用を促進するための推進案】

### ・交通手段としてのレンタサイクル（シェアサイクル）の導入

鹿児島市内や観光地、住宅地にレンタサイクルの拠点（ポート）を多数設置し、「どこでも借りて、どこでも返せる」シェアサイクルの仕組みを導入します。

### ・公共交通と連携した「ラストワンマイル」施策

鹿児島県内のバス・鉄道・フェリーなどの公共交通機関とレンタサイクルを組み合わせた「ラストワンマイル」施策を実施します。

#### フェリー×レンタサイクル：

桜島フェリーや屋久島フェリーのターミナルにレンタサイクルポートを設置し、陸上移動の手段としてシームレスにレンタサイクルを活用

#### 鉄道×レンタサイクル：

鹿児島中央駅、指宿駅、霧島温泉駅など主要駅にレンタサイクル拠点を設置し、JR九州と提携して鉄道利用者向けの割引制度を導入します。

#### バス×レンタサイクル：

バス停付近にレンタサイクルポートを設置し、短距離移動の選択肢として活用し、バスの運行本数が少ない地域での移動手段を補完します。

